

【証券コード:6728】

# 決算説明会 (2010年6月期)

2010年8月16日

株式会社 アルバック

## ◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## ◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

2Q(累計)：第2四半期連結累計期間

2Q : 第2四半期連結会計期間

注)2010年6月期(予想)よりセグメント及び品目の表現が変更されています。

■ イノベーションを促進して世界のトップへ

代表取締役会長 中村久三

■ 業績概要及び予想

- ▶ 2010年6月期連結業績概要
- ▶ 2011年6月期連結業績予想
- ▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

## アルバックをとりまく環境

### ■ 不況の特徴

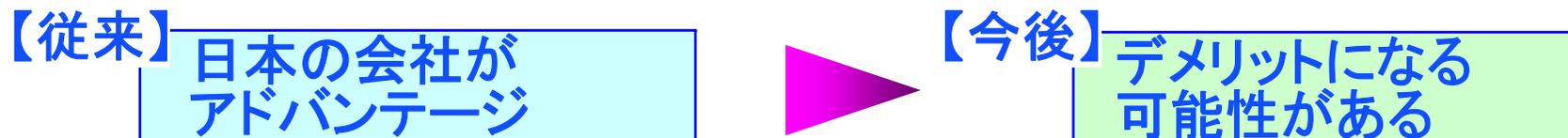
- ① 世界経済の中心が米国から中国に移ってゆく
- ② 世界経済の成長を牽引している分野が電子デバイスとITソフトからエネルギー・環境と資源・材料に移ってゆく
- ③ 中国に加えてインド、ロシア、ブラジル、中東などで製造業の急成長が開始
- ④ 新たに日本の製造業の圧倒的な地盤沈下という困難が鮮明に

### ■ 最先端技術の流れ



### ■ 変化する成長スキーム

- ▶ 日本の製造業の発展に支えられ成長を遂げてきた



## アルバックの生き残り戦略

### ■ アルバックが生き残るためには

#### ① コモディティ化した商品

- ・ 抜本的なコストダウンでシェアを確保し続ける
- ・ 機電一体化、中国生産の急速な拡大など

#### ② アルバックしかできない独創的な新商品

- ・ 日本で連発して新事業を作り出す

グローバル化と  
イノベーションの  
2つを同時に  
成功させる

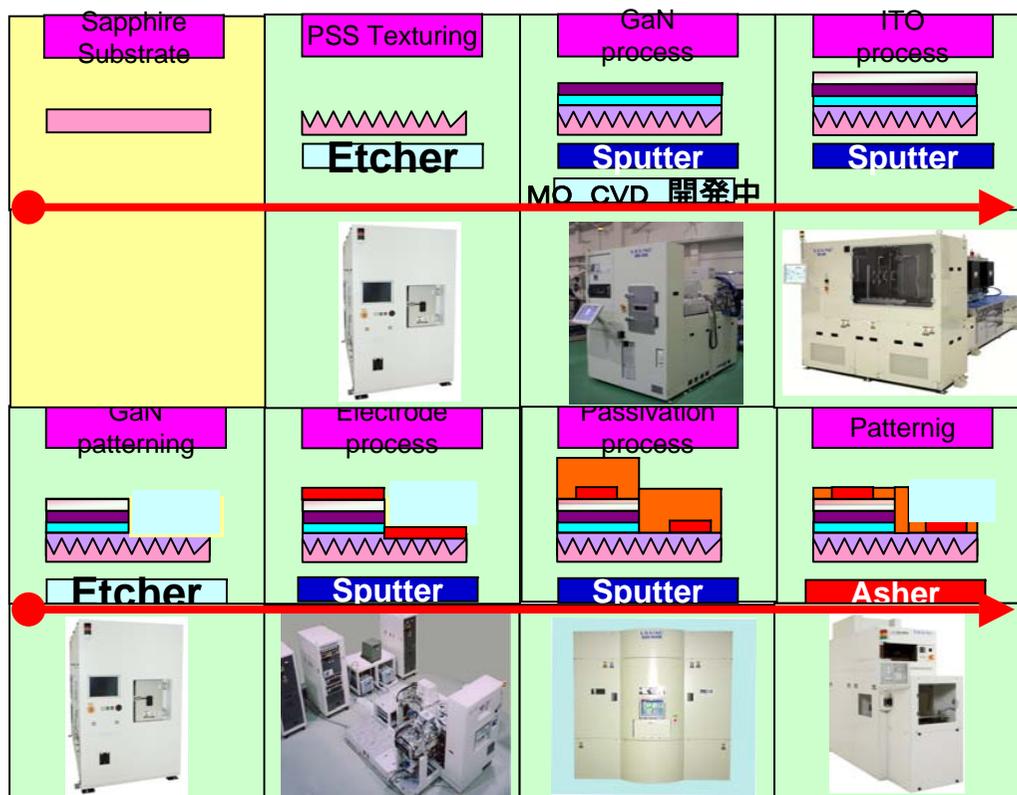
### ■ 抜本的な改革を継続

- ・ 全ての分野(開発、生産、営業)で油断することなく改革を継続
- ・ 競合他社に対して全ての点で先行し優位を保つ

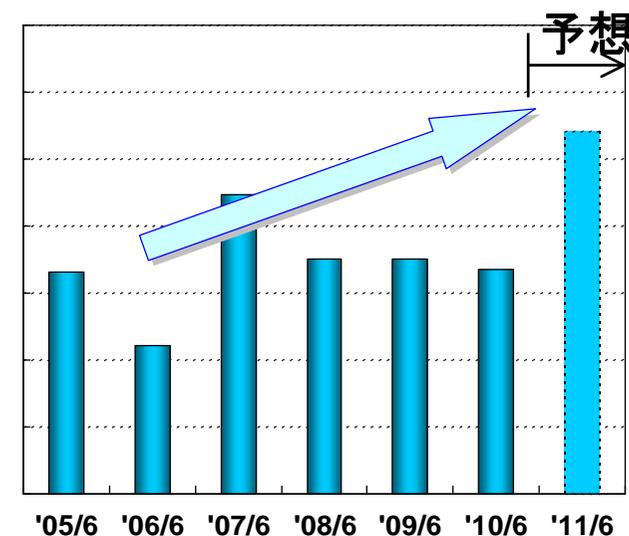
# 「ポストFPD戦略」の成果(1)

## 1. デジタル家電部品製造装置

### ▶ LED製造装置のラインナップを充実



LED関連装置の売上高の推移



## 「ポストFPD戦略」の成果(2)

### 2. エネルギー・環境関連製造装置

#### ▶ 太陽電池製造装置

- ◆ 薄膜シリコン系太陽電池でタンデム型ターンキー装置を開発
- ◆ テュフラインランド社と共同で太陽電池評価センターを設置。材料の認証と販売が可能
- ◆ 昭和シェル殿とのCIS太陽電池製造装置の開発
- ◆ 結晶系太陽電池で各種技術を開発中

#### ▶ PV発電・EV急速充電統合システム

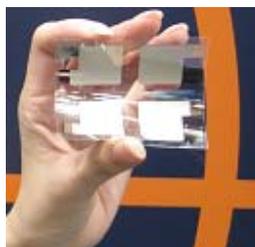
- ◆ 太陽光発電設備とEV急速充電器を組合わせた充電システムを製品化



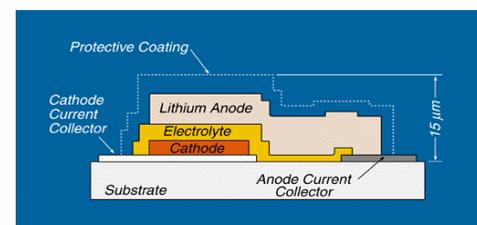
茅ヶ崎本社工場に設置した急速充電システム

#### ▶ 二次電池製造装置

- ◆ 薄膜Li電池製造装置の開発に成功。



アルバック デモサンプル



薄膜リチウム二次電池の断面図(例)

# 「ポストFPD戦略」の成果(3)

## 2.エネルギー・環境関連製造装置(続き)

- ▶ パワーデバイス用各種装置の開発
- ▶ SiC用イオン注入装置とアニール装置を開発



イオン注入装置



ポストアニール炉



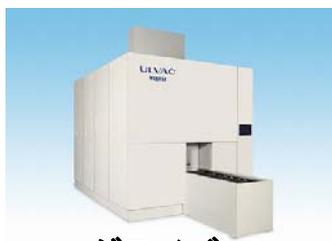
エッチング装置



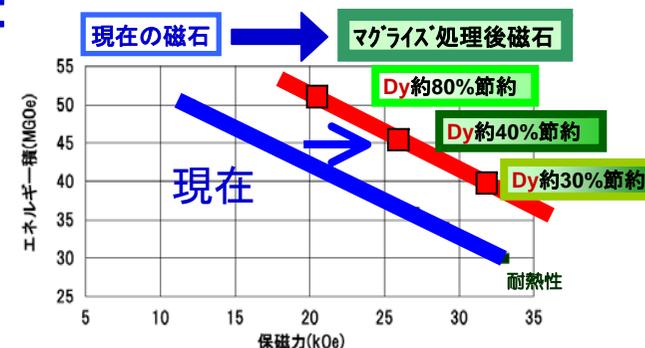
スパッタ装置

- ▶ 環境対応車(ハイブリッドカー、EV)関連:

◆ 世界最高性能の永久磁石製造装置の開発に成功



マグライズ



- ▶ フィルムコンデンサー製造装置の開発に成功



巻取式真空蒸着装置



真空蒸着されたフィルム



# 「ポストFPD戦略」の成果(4)

## 3. 中国市場

### ■ ローテクからハイテクまですべての分野

- ▶ コンポーネント(自動車、家電関連)
- ▶ 一般産業機器(磁石、熱処理、真空巻取蒸着)
- ▶ 電子機器(LED、VFD、パワーデバイス、チップ抵抗、SAWデバイス等)
- ▶ FPD・半導体・太陽電池 (TFT、PDP、5”~300mmウエーハ)

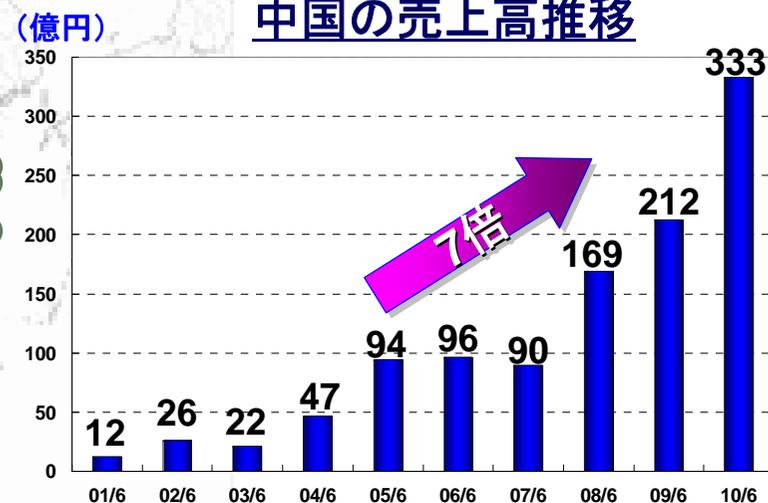


愛発科(中国)投資有限公司  
(通称アルバックチャイナ)



### ■ 中国ビジネスの成長 (04/6期→10/6期)

- ▶ 事業展開の拡大(3社→16社)
- ▶ 売上高が増大(47億円→333億円:7倍)



# 「ポストFPD戦略」の成果(5)

## 4.カスタマーサポートとOEM生産

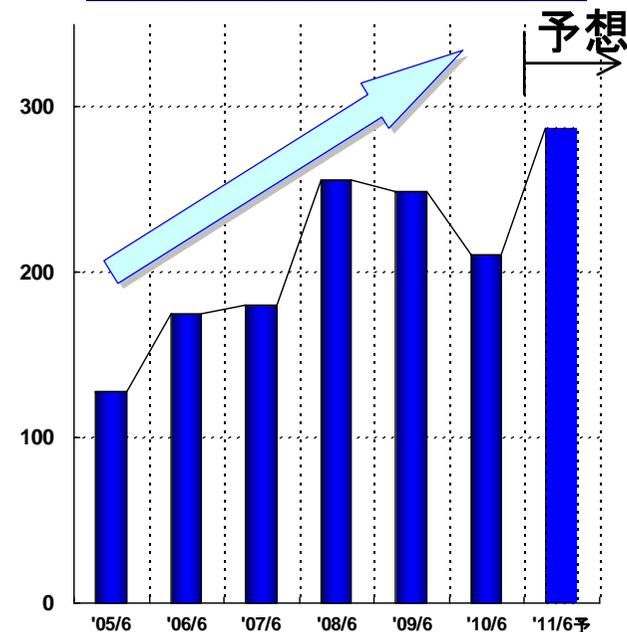
- ▶ 材料・資源分野
  - アルバックマテリアル(株)をアルバック内に取り込み、装置事業との車の両輪としてシナジー効果
- ▶ 新材料、リサイクル、精製技術の開発に本格的に取り組む
- ▶ 3Dテレビ、有機ELなどの次世代ディスプレイの期待がもてる  
Cu合金、IGZO(酸化物半導体ターゲット)の開発に成功



- ▶ 鹿児島工場、ITO増産への投資開始



マテリアル事業の売上高の推移



## イノベーションの促進

### ■ 新たなイノベーション

#### ▶ 最近のターンキー製品の成果

◆ PV発電・EV充電統合システム



PV発電・EV充電統合システム

◆ 凍結乾燥無菌製剤一貫ライン  
(マイクロパウダードライ:  $\mu$ PD)



量産対応装置「 $\mu$ PD2000」

◆ ハイブリッド・カー、EV用  
希土類磁石製造装置(マグライズ)

#### ▶ 戦略的技術提携

◆ SABICイノベティブプラスチック Exatecと自動車用  
グレージングにポリカーボネート樹脂の採用を加速する  
コーティング技術の量産化で技術提携

ターンキーソリューションの拡充で、イノベーションを加速

- イノベーションを促進して世界のトップへ

代表取締役会長 中村久三

- 業績概要及び予想

- ▶ 2010年6月期連結業績概要
- ▶ 2011年6月期連結業績予想
- ▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

## 2010/6期の状況

### ■経営環境

- ▶景気が好転し、設備投資が急速に回復

### ■FPD、半導体、LED業界

- ▶設備投資が活発化し、アルバックグループに追い風

### ■太陽電池業界

- ▶日本の住宅向け需要が高まり、設備投資は概ね旺盛。  
薄膜Si太陽電池の設備投資は低調

### ■新規ビジネス

- ▶電気自動車の実用化元年で急速充電器市場が形成  
→新たなビジネスのきっかけ

### ■市場の変化

- ▶日本市場の縮小と市場の海外シフト  
→真空装置は75%が海外向け

# 2010/6期業績

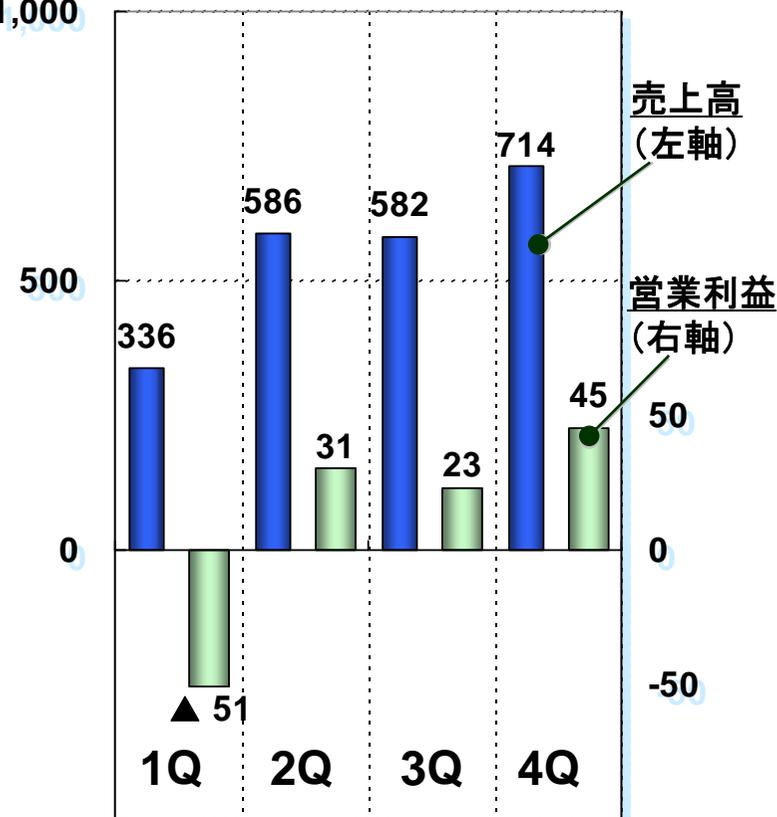
受注高は、PVの回復が遅れたが、FPD、半導体など投資回復のため前期を上回る。  
 売上高は、PVの落ち込みを、FPD、半導体・電子が補いきれず、前期を多少下回った。  
 収益面は、1Qは赤字を計上。2Q以降はFPDが、地域では韓国、中国が寄与。前期を上回る。

【単位：億円】

	08/6期	09/6期	10/6期	
			予想	実績
受注高	2,931 (+24%)	1,722 (-41%)	2,400 (+39%)	2,217 (+29%)
受注残高	1,710	1,079		1,083
売上高	2,412 (+1%)	2,238 (-7%)	2,400 (+7%)	2,218 (-1%)
営業利益	91 (-45%)	35 (-62%)	56 (+61%)	48 (+38%)
営業利益率	3.8%	1.6%	2.3%	2.2%
経常利益	51 (-69%)	8 (-84%)	31 (+271%)	49 (+492%)
経常利益率	2.1%	0.4%	1.3%	2.2%
当期純利益	36 (-51%)	8 (-78%)	11 (+36%)	21 (+164%)

【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

【単位：億円】 売上高と営業利益の推移  
1,000



## 品目別売上高の実績

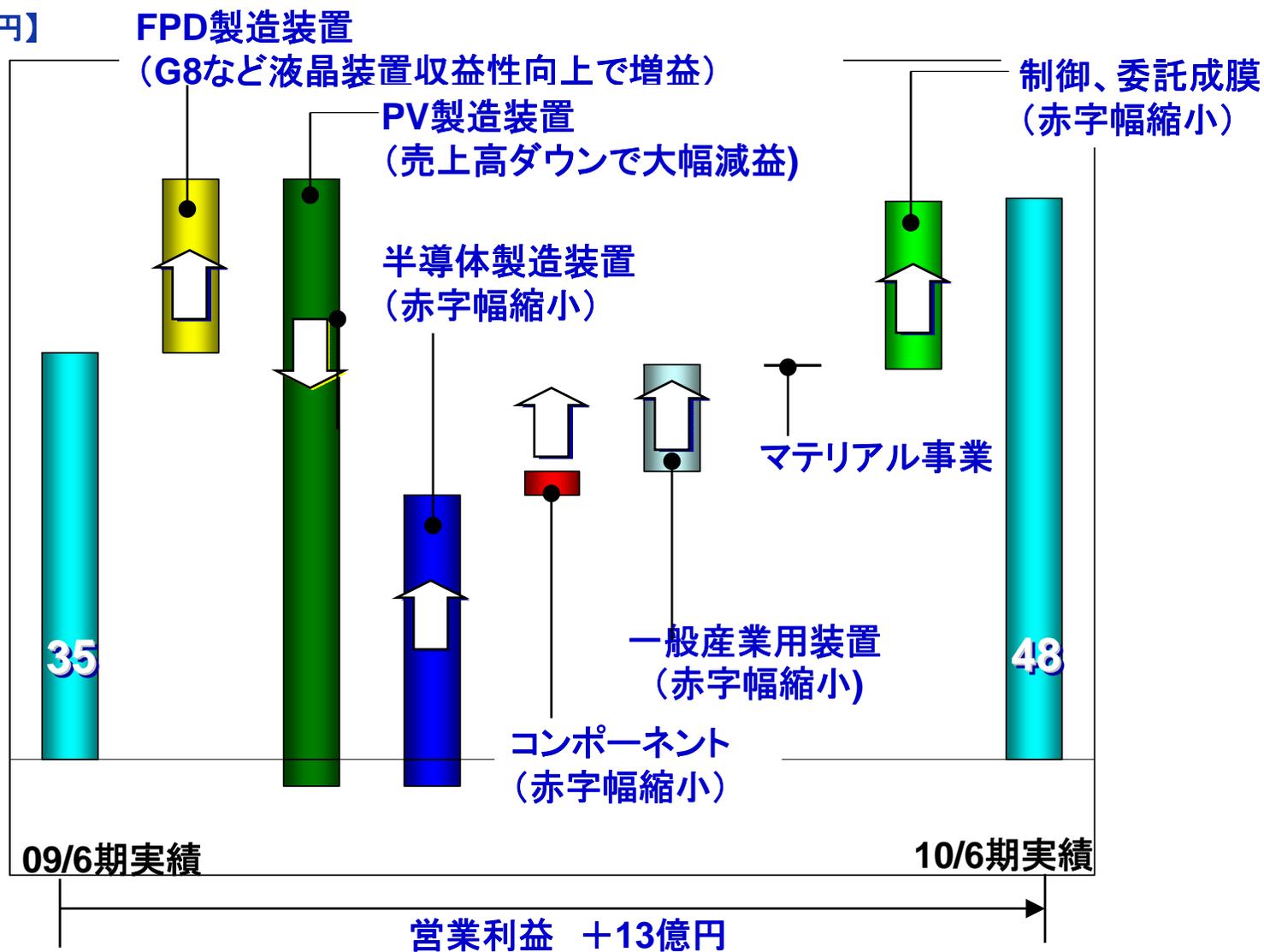
【単位:億円】

セグメント及び品目	'09/6期 (参考)	セグメント及び品目	10/6期			主な要因
			予想	実績	差異	
真空関連事業	1,783	真空機器事業	1,935	1,805	-130	
ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,284	FPD製造装置	922	881	-41	中国向け受注が翌期に期ずれ
半導体製造装置	142	PV製造装置	490	385	-105	中国向け受注が翌期に期ずれ
コンポーネント	213	半導体及び電子部品製造装置	205	218	13	台湾向けメモリ製造装置などで上ぶれ
その他	145	コンポーネント	189	201	12	製造装置向けで上ぶれ
		一般産業用装置	129	119	-10	据付工事が遅れ翌期に期ずれ
その他の事業	455	真空応用事業	465	413	-52	
		材料・部材	227	211	-16	ターゲット関連受注減
		その他	238	202	-36	中国向け中古機移設ビジネスの失注など
合計	2,238	合計	2,400	2,218	-182	

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

## 品目別営業利益増減分析(09/6期比較)

【単位:億円】



■ イノベーションを促進して世界のトップへ

代表取締役会長 中村久三

■ 業績概要及び予想

- ▶ 2010年6月期連結業績概要
- ▶ **2011年6月期連結業績予想**
- ▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

## 経営環境

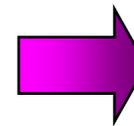
### ■ 経済概況

- ▶ マクロ的なリスク要因(欧州の財政危機、米景気の先行き懸念、円高等)
- ▶ 実体経済は底を打ち上昇基調

### ■ アルバックへの影響

#### ◆ 短期的な状況(ポジティブ)

- ▶ 半導体設備投資の回復
- ▶ 中国、韓国、台湾のFPDやLED関連の設備投資が活発化



今年度業績の  
プラス要因

#### ◆ 長期的な状況(ネガティブ)

- ▶ 既存事業の市場と日本市場は成長鈍化の兆し  
→ 今後の飛躍的な成長を阻害
- ▶ 円高、アジアメーカーの台頭、中国市場の拡大で価格競争激化  
→ 利益確保が益々困難に



- 既存事業依存からの大胆な脱却(脱装置・脱真空ビジネス)
- グローバルレベルでのコストダウンの推進

# 2011/6期業績予想

受注、売上とも、中国、韓国で堅調に推移。PVは日本、中国以外は低迷。  
半導体(メモリ、LED)、コンポーネント、マテリアル(LCD向け)で回復する見込み。

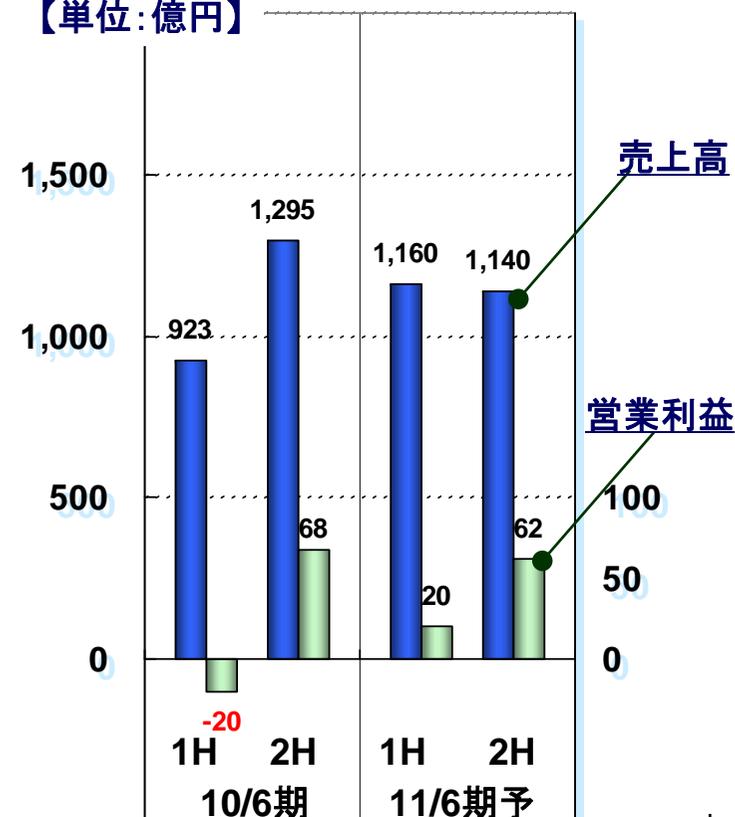
利益面はFPDが好調。半導体、コンポーネント、マテリアルが回復。PVは大幅減。

【単位:億円】

	10/6期 実績	11/6期予	
		2Q(累計)	通期
受注高	2,217 (+29%)	1,126 (-5%)	2,350 (+6%)
受注残高	1,083	1,049	1,133
売上高	2,218 (-1%)	1,160 (+26%)	2,300 (+4%)
営業利益	48 (+38%)	20 —	82 (+71%)
営業利益率	2.2%	1.7%	3.6%
経常利益	49 (+492%)	12 —	65 (+32%)
経常利益率	2.2%	1.0%	2.8%
当期純利益	21 (+164%)	4 —	34 (+59%)

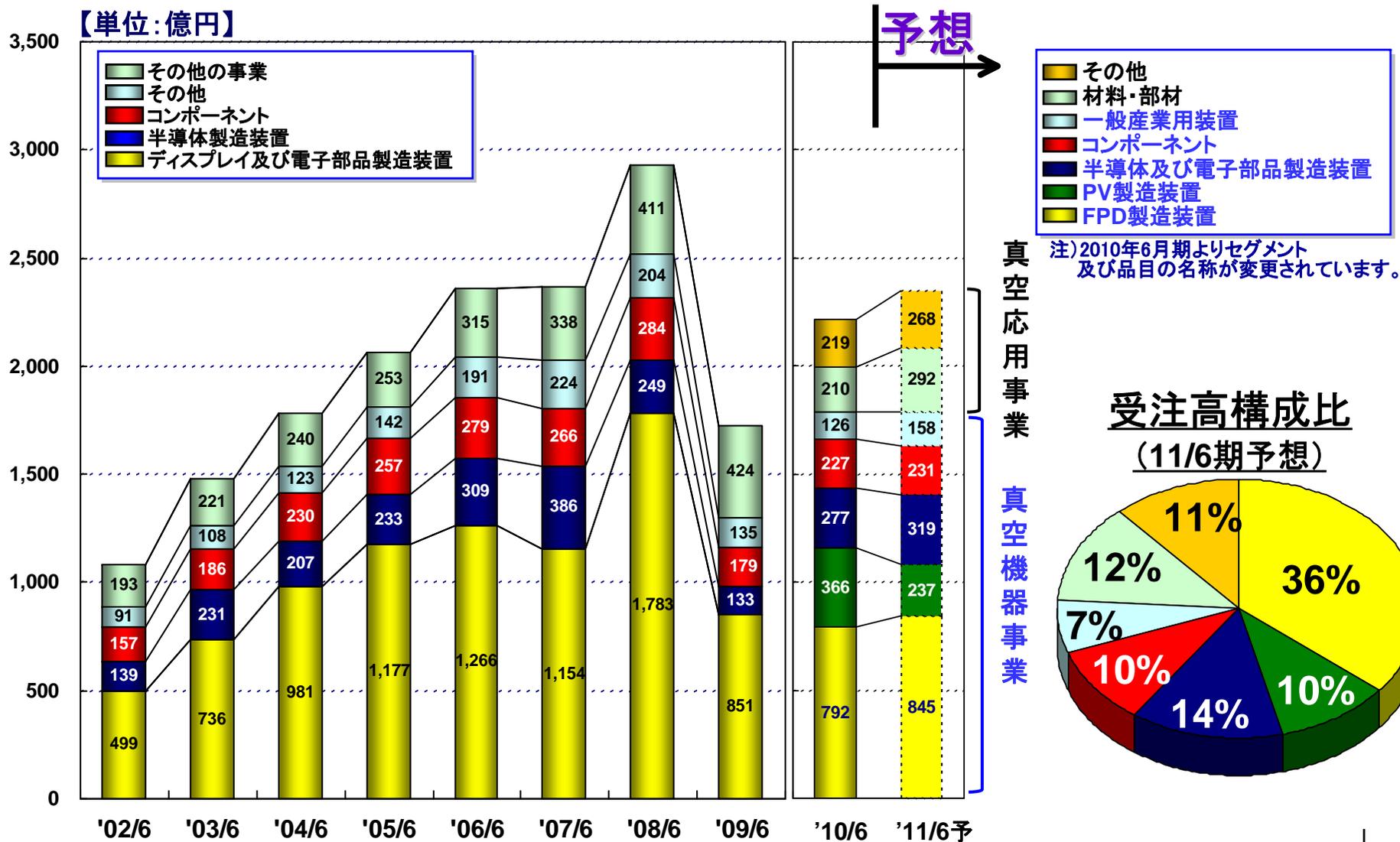
売上高と営業利益の推移・予想

【単位:億円】

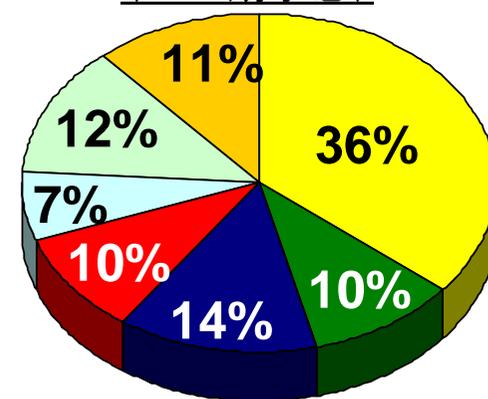


【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

# 品目別受注高実績・予想

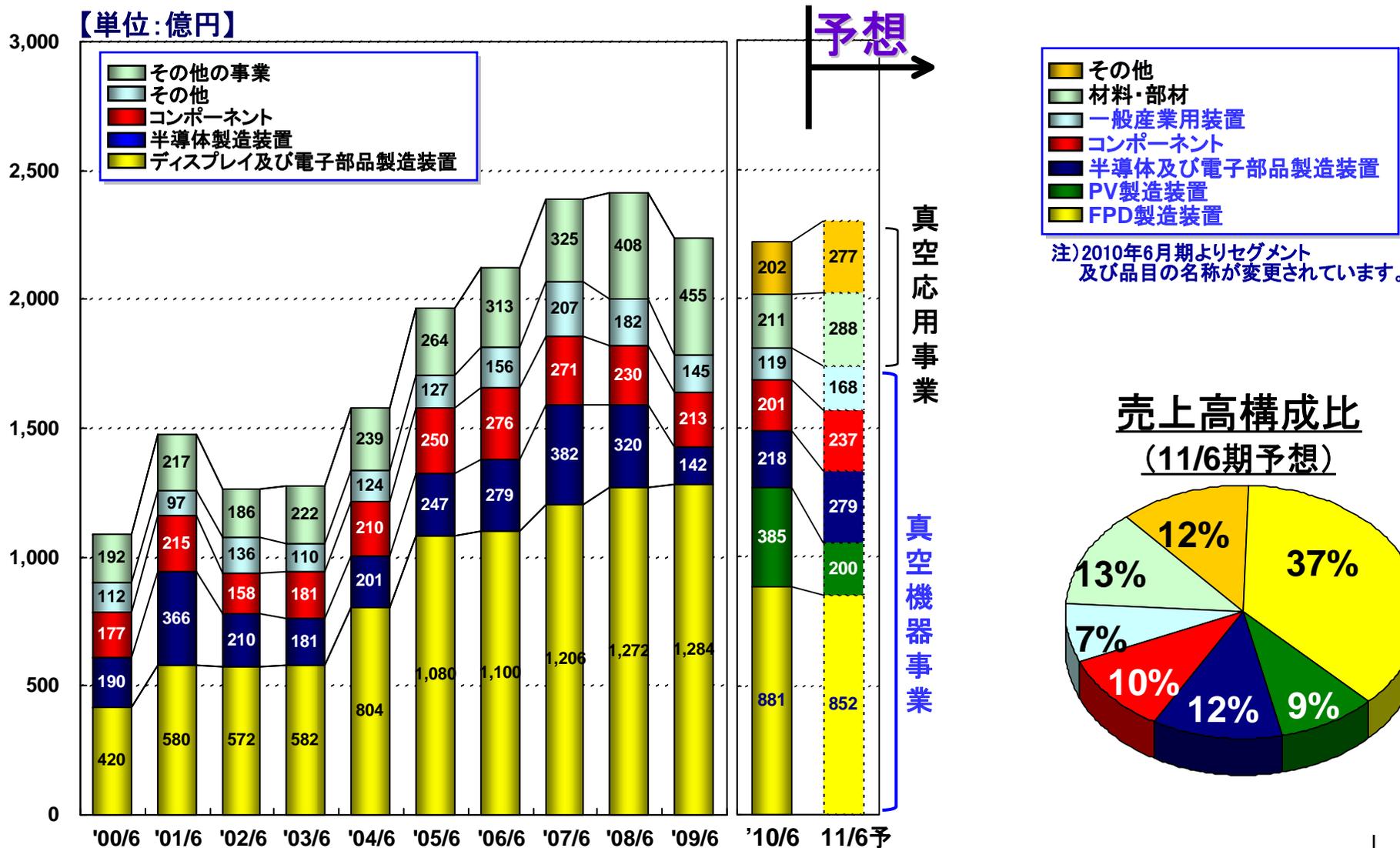


受注高構成比 (11/6期予想)

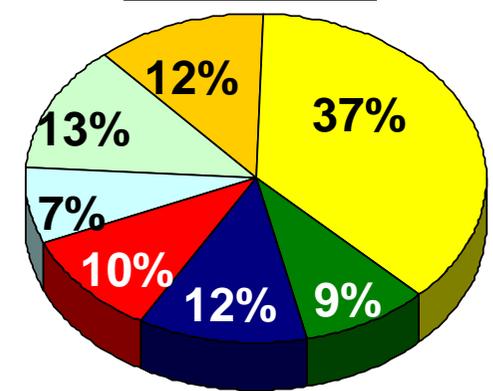


【小数点以下は四捨五入】

# 品目別売上高実績・予想

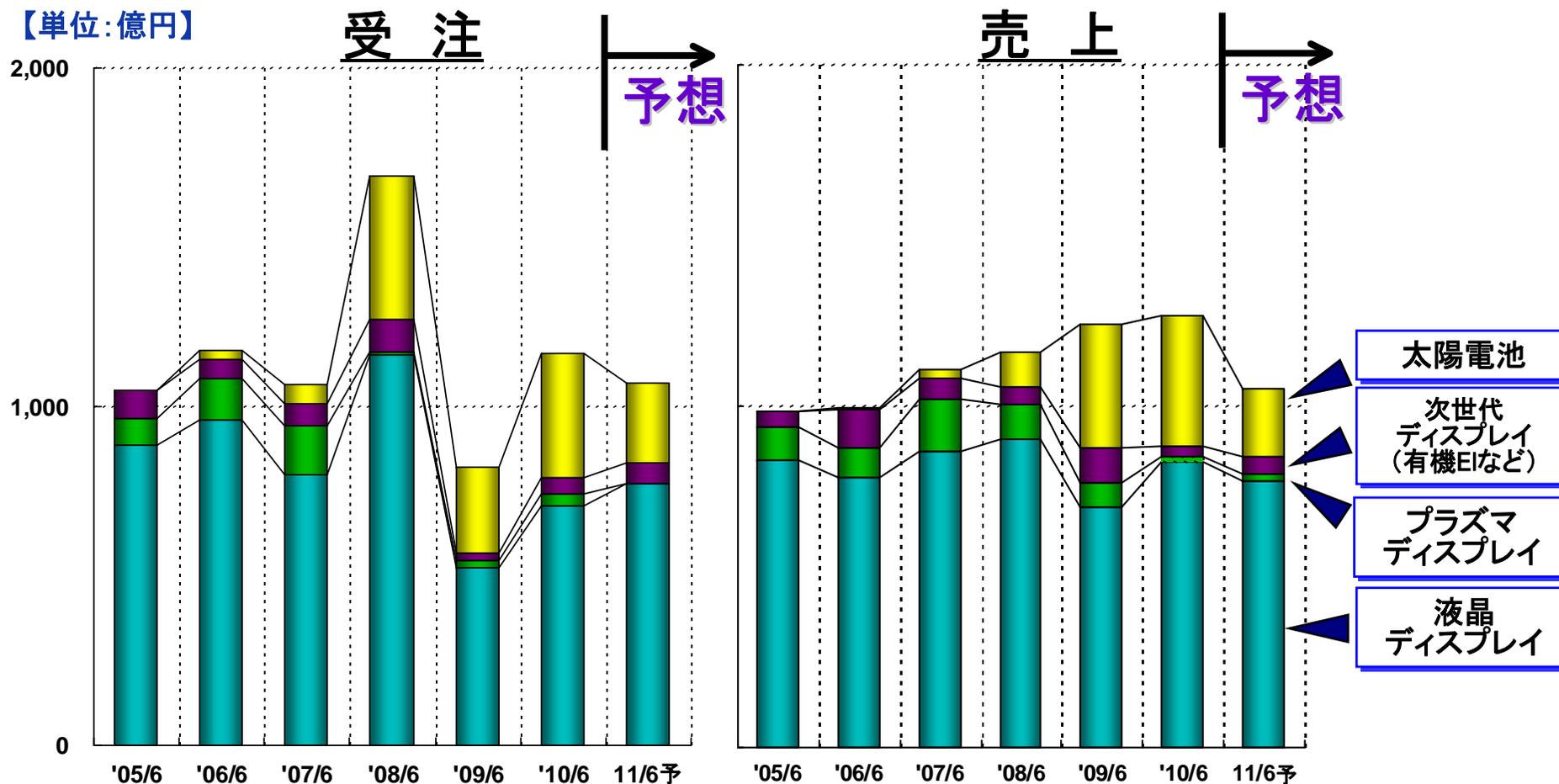


売上高構成比 (11/6期予想)



【小数点以下は四捨五入】

# FPD製造装置・PV製造装置の推移・予想

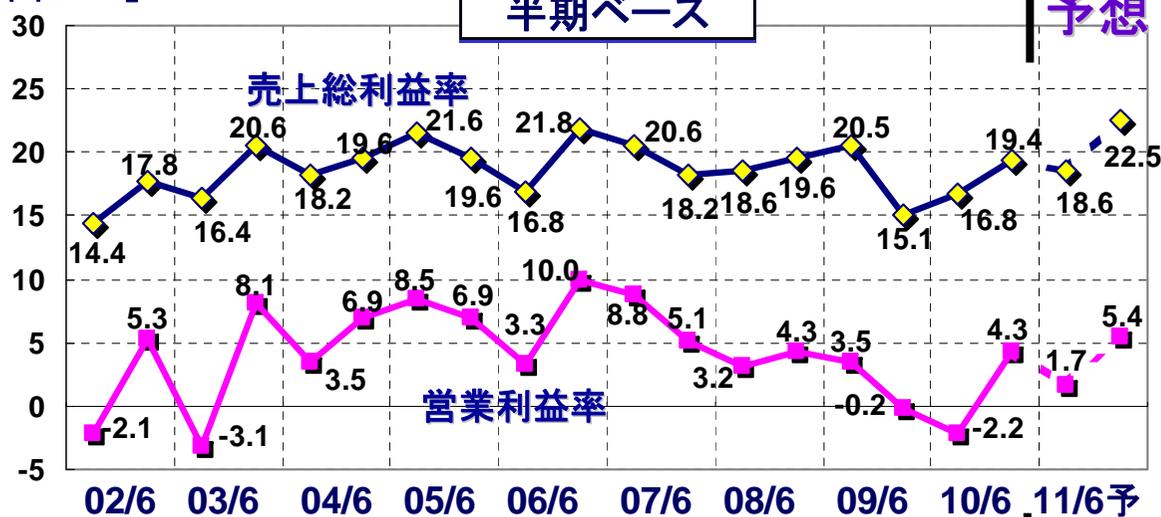


### 足元の受注環境

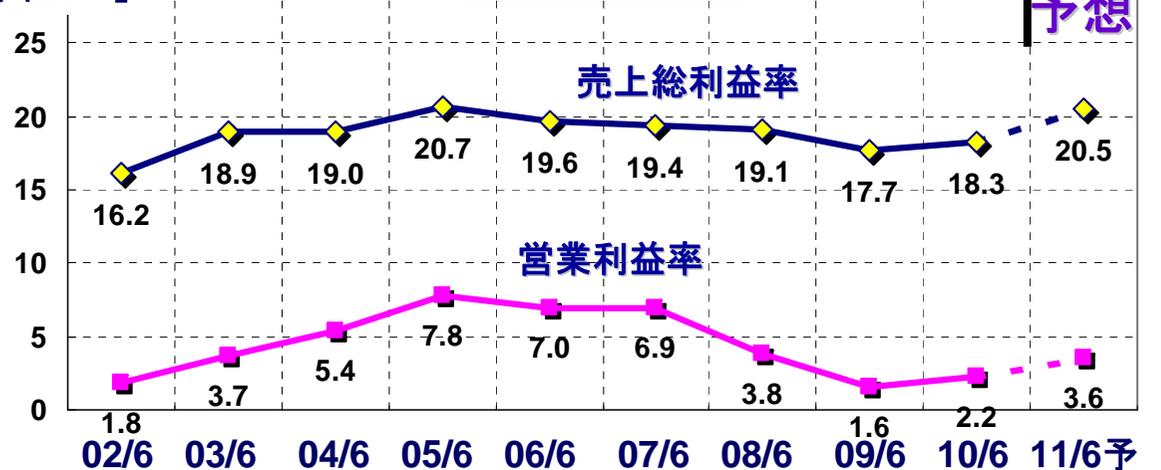
- ◆液晶ディスプレイは、韓国、台湾、中国を中心に設備投資再開
- ◆太陽電池は薄膜シリコン系、結晶系など見込む
- ◆次世代ディスプレイの有機EL関連の引き合いが活発化

# 利益率の推移・予想

【単位：%】



【単位：%】

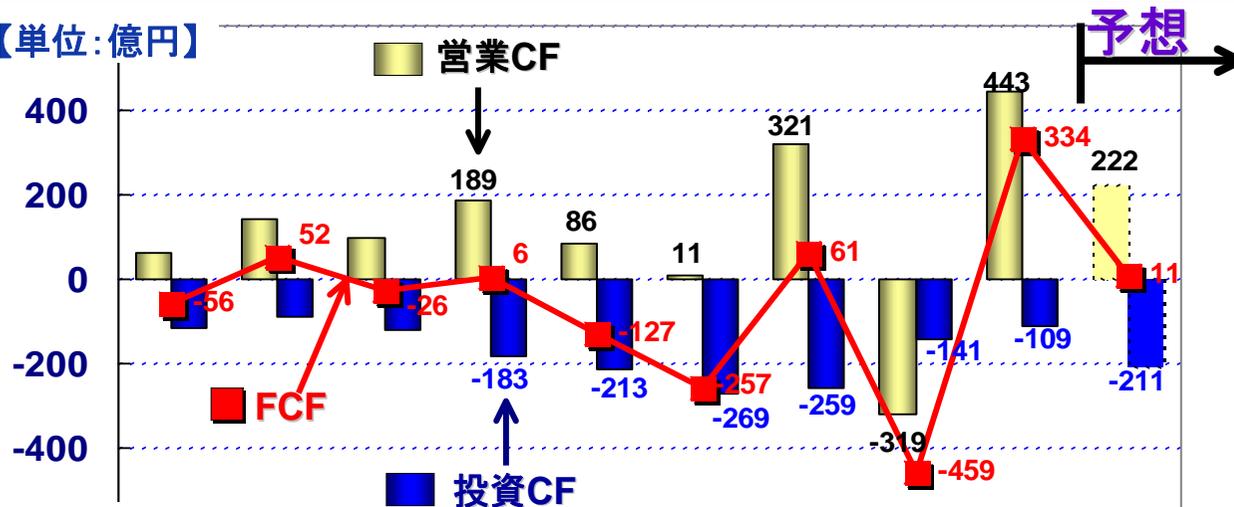


- 2011/6期予想
- ▶ 上期
    - ◆ FPD製造装置が堅調
    - ◆ 製造装置向けコンポーネントが回復
    - ◆ PV関連は利益減
  - ▶ 下期
    - ◆ FPD製造装置が堅調
    - ◆ マテリアル関連の増産で売上増加。収益性向上
    - ◆ 半導体製造装置、コンポーネントの利益増

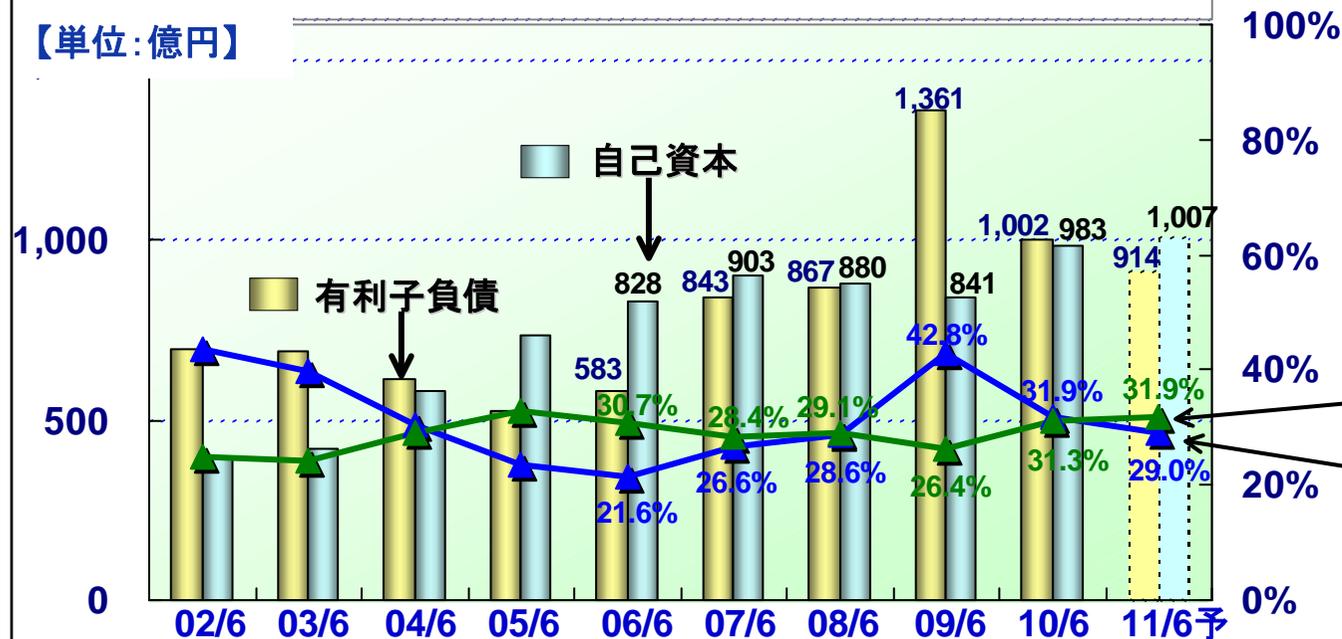
【小数点以下第2位は四捨五入】

# キャッシュ・フローと有利子負債の実績・予想

【単位:億円】



【単位:億円】



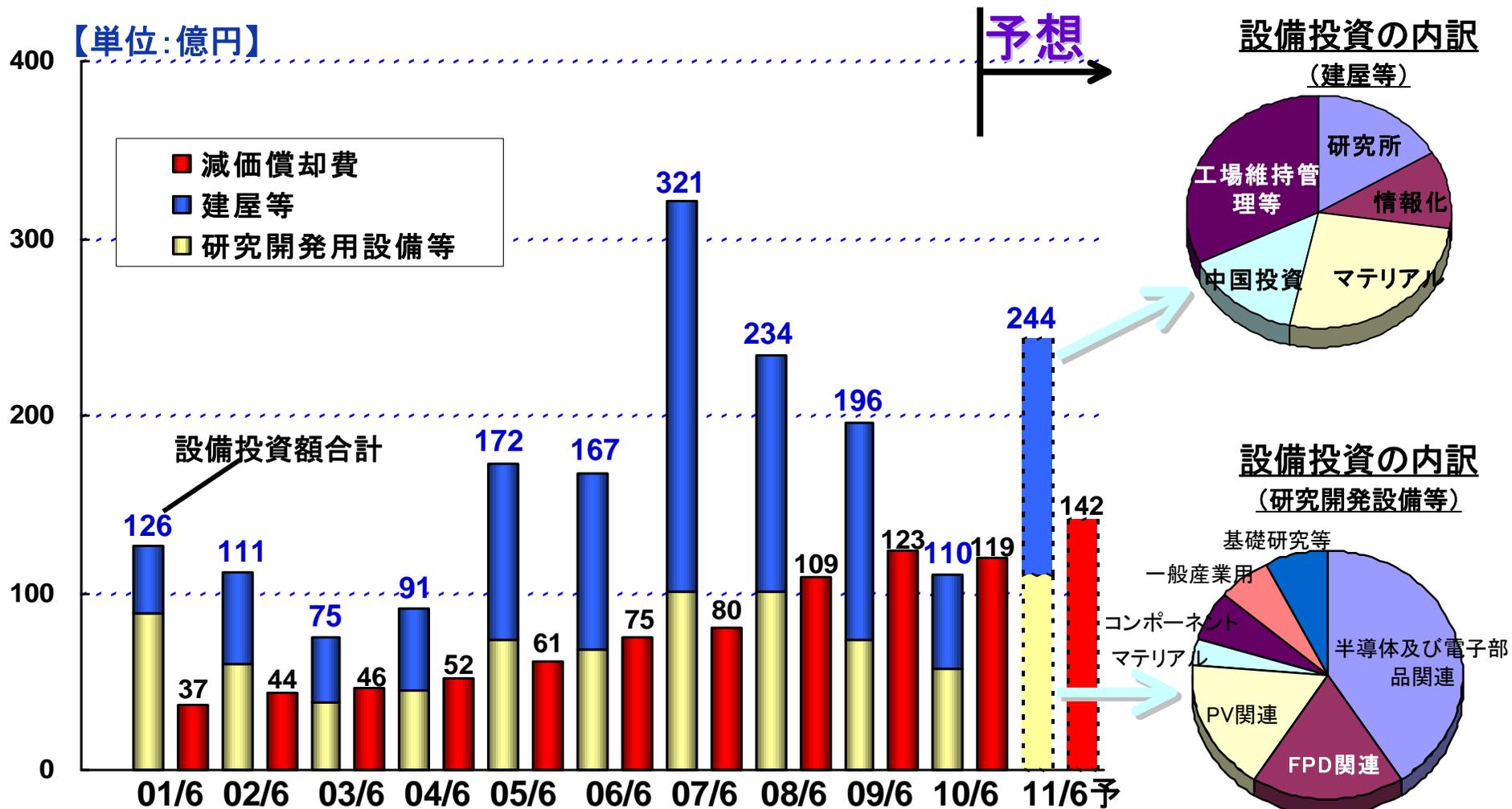
【小数点以下第2位は四捨五入】

**2011/6期目標**

- ▶ FCF: 連続黒字化を維持
- ▶ DEレシオ: 0.9以下を目指す (長期的に0.6以下を目指す)
- ▶ 自己資本比率: 30%台を堅持

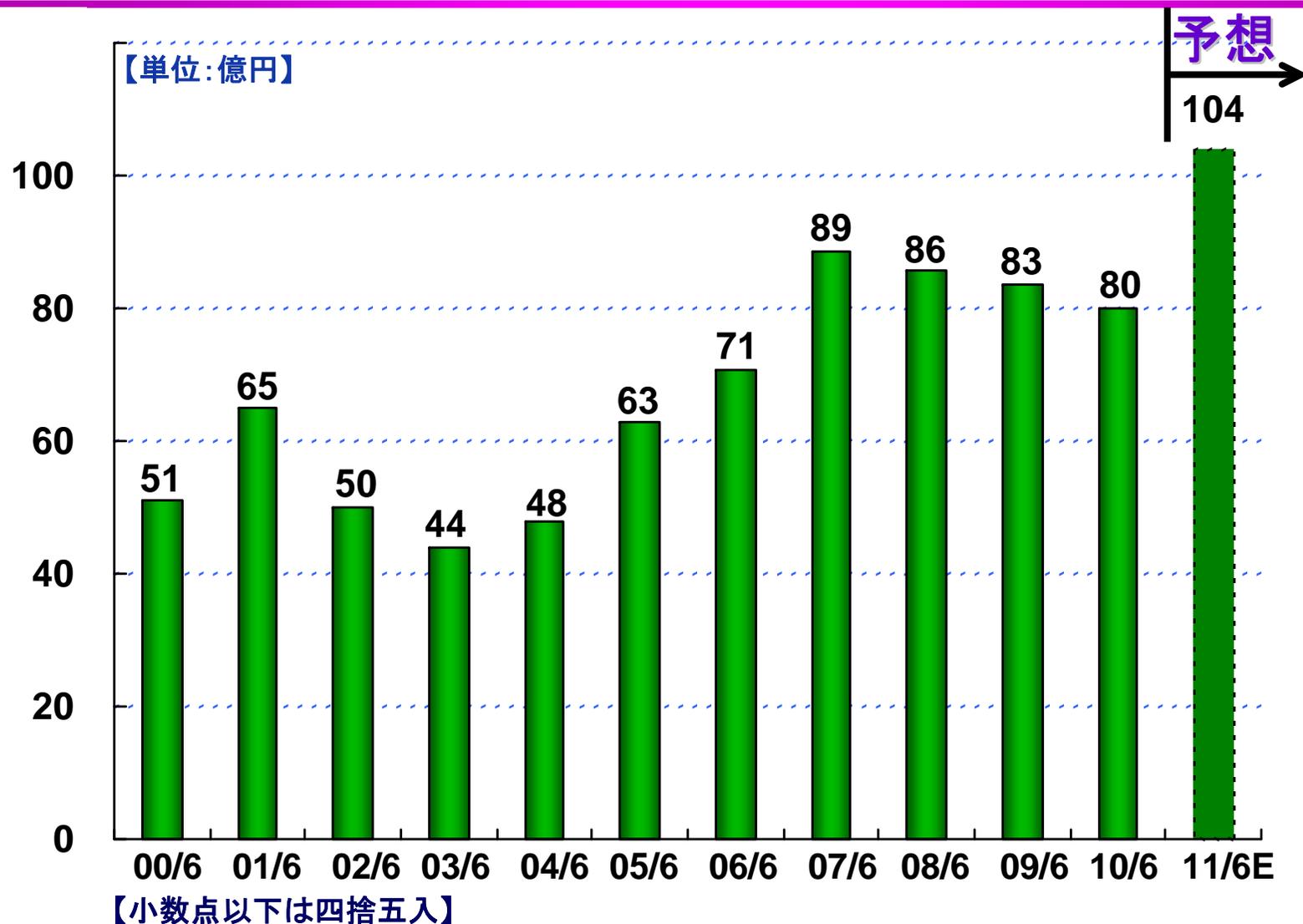
▲ 自己資本比率  
▲ 借入金依存度

# 設備投資、減価償却費の推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

# 研究開発費の推移・予想



■ イノベーションを促進して世界のトップへ

代表取締役会長 中村久三

■ 業績概要及び予想

- ▶ 2010年6月期連結業績概要
- ▶ 2011年6月期連結業績予想
- ▶ **事業戦略**

代表取締役社長 諏訪秀則

## 重点施策(1)(2011年6月期)

### ①再生可能エネルギー関連事業

- ▶ 太陽電池用装置の売上増を図る。薄膜Si系太陽電池以外にも注力
- ▶ 川下への事業展開を図る。太陽電池用コンデンショナー、太陽光発電所の敷設など太陽電池関連事業の幅を広げる
- ▶ 電気自動車(EV)用急速充電器の拡販に注力

### ②マテリアル事業

- ▶ マテリアル事業をアルバックの事業の中核に
- ▶ 国内外の設備投資、技術開発を積極的に実施

### ③生産体制の見直し

- ▶ グローバルな視点からグループ全体の生産体制の見直し
- ▶ 最適な生産体制を構築、コストダウンを追求

## 重点施策(2)(2011年6月期)

### ④国内グループ会社の再編

- ▶国内の販売体制と製造子会社の事業内容を見直し、事業転換と再編を実施

### ⑤グローバル化

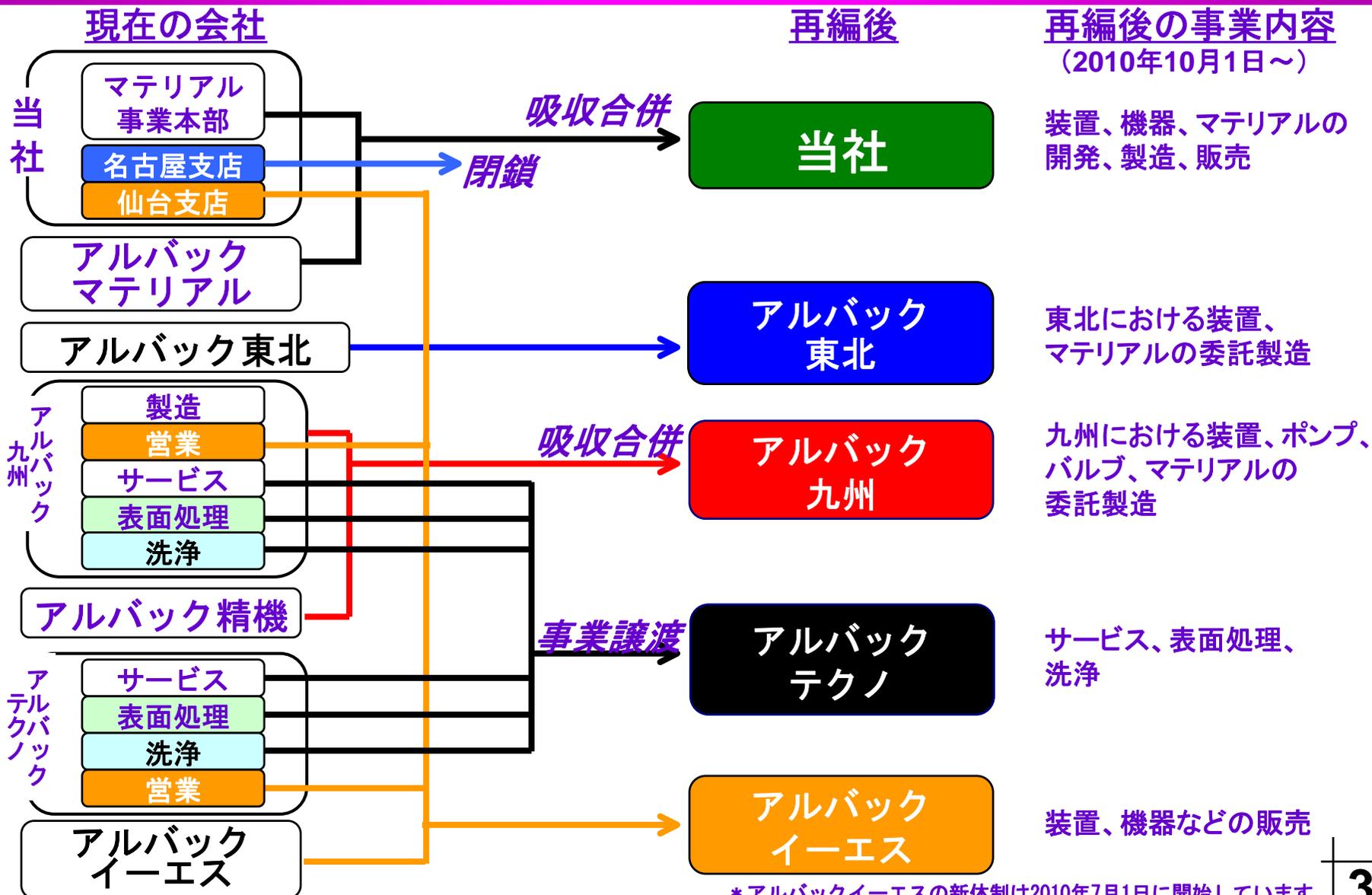
#### ▶中国事業

現地法人設立と拠点拡充の投資から、リターンを確実なものにするため中国各社の体制強化に注力

#### ▶ポスト中国を模索

南米など新興国の市場開拓に注力

# 事業再編について



\* アルバックイーエスの新体制は2010年7月1日に開始しています

## 今後の事業環境

### ■ 今後の事業環境

市場は、日本が縮小し、アジアへ大きくシフト。

円高が益々進行。アジア、欧州の競合メーカーとの価格競争が激化。

### ■ アルバックの対応

「既存事業依存からの大胆な脱却(脱装置・脱真空)」

「グローバルレベルでのコストダウンの推進」

### ■ 中長期の注力施策

①再生可能エネルギー関連(PV,EV)

②マテリアルビジネス、委託加工

③ターンキーソリューションの展開

④中国での成長

⑤成長が鈍化している分野(事業部、会社)の事業転換、再編

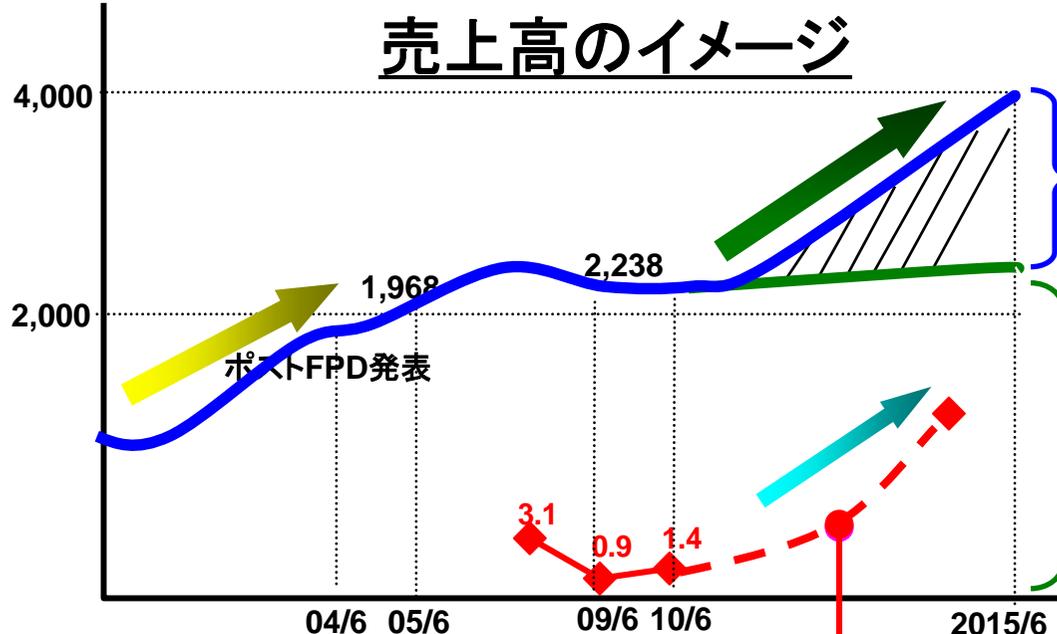
⑥生産体制、生産拠点の大胆な見直し

ポストFPD戦略を  
スタート(04年)



新商品の開発、新規事業の拡充  
で中長期のさらなる成長をめざす

【単位:億円】



## 新商品の開発、新規事業の拡充

### ・イノベーションの促進

- ・ターンキー商品の拡充
- ・TV用大型有機EL製造装置
- ・高効率太陽電池製造装置
- ・LED製造装置(MOCVD)
- ・各種樹脂コーティング(自動車用グレージング等)

### ・脱装置・脱真空ビジネスの拡充

- ・再生可能エネルギー関連(太陽電池用コンデンショナー、太陽光発電所建設、電気自動車用急速充電器)
- ・マテリアルビジネス
- ・委託加工

### ・M&A、資本参加、アライアンス

既存  
ビ  
ジ  
ネ  
ス

## 財務戦略

戦略的成長投資を実現するための  
営業CFの獲得

- ・ROICの向上について取組を始める
- ・運転資金効率の改善(CCC短縮化)

真空テクノロジーで  
「つくる」をつくる、アルバック  
ULVAC

本日は  
ありがとうございました

# 会社概要

## ■ 事業内容

### ▶ 真空機器事業

- ・FPD製造装置 : FPD(液晶、有機EL、PDP等)製造装置
- ・PV製造装置 : 太陽電池(薄膜系、結晶系、化合物系等)製造装置
- ・半導体及び電子部品製造装置: メモリー、LED(化合物半導体)、電子部品等の製造装置
- ・コンポーネント : 真空ポンプ、計測器、電源などの真空機器
- ・一般産業用装置 : 真空熱処理炉など一般産業機器製造装置

### ▶ 真空応用事業

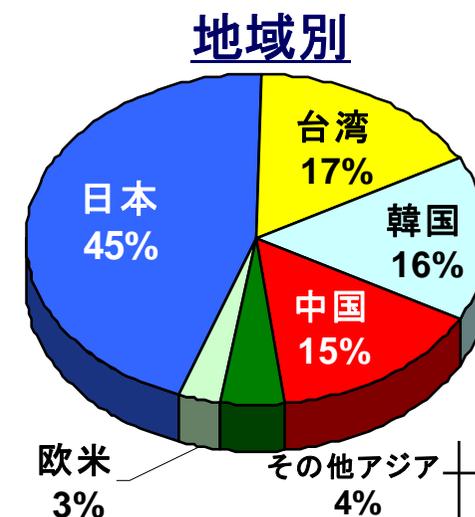
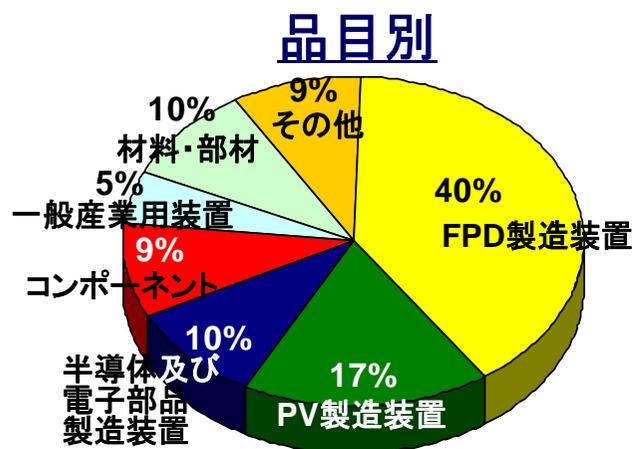
- ・材料・部材 : スパッターターゲット材、先端材料、太陽電池部材等
- ・その他 : 表面解析装置、分析装置、制御システム、委託成膜等

## ■ 10/6期実績(連結)

【単位:億円】

売上高	2,218
営業利益	48
当期純利益	21
純資産合計	1,025
従業員	7,169名

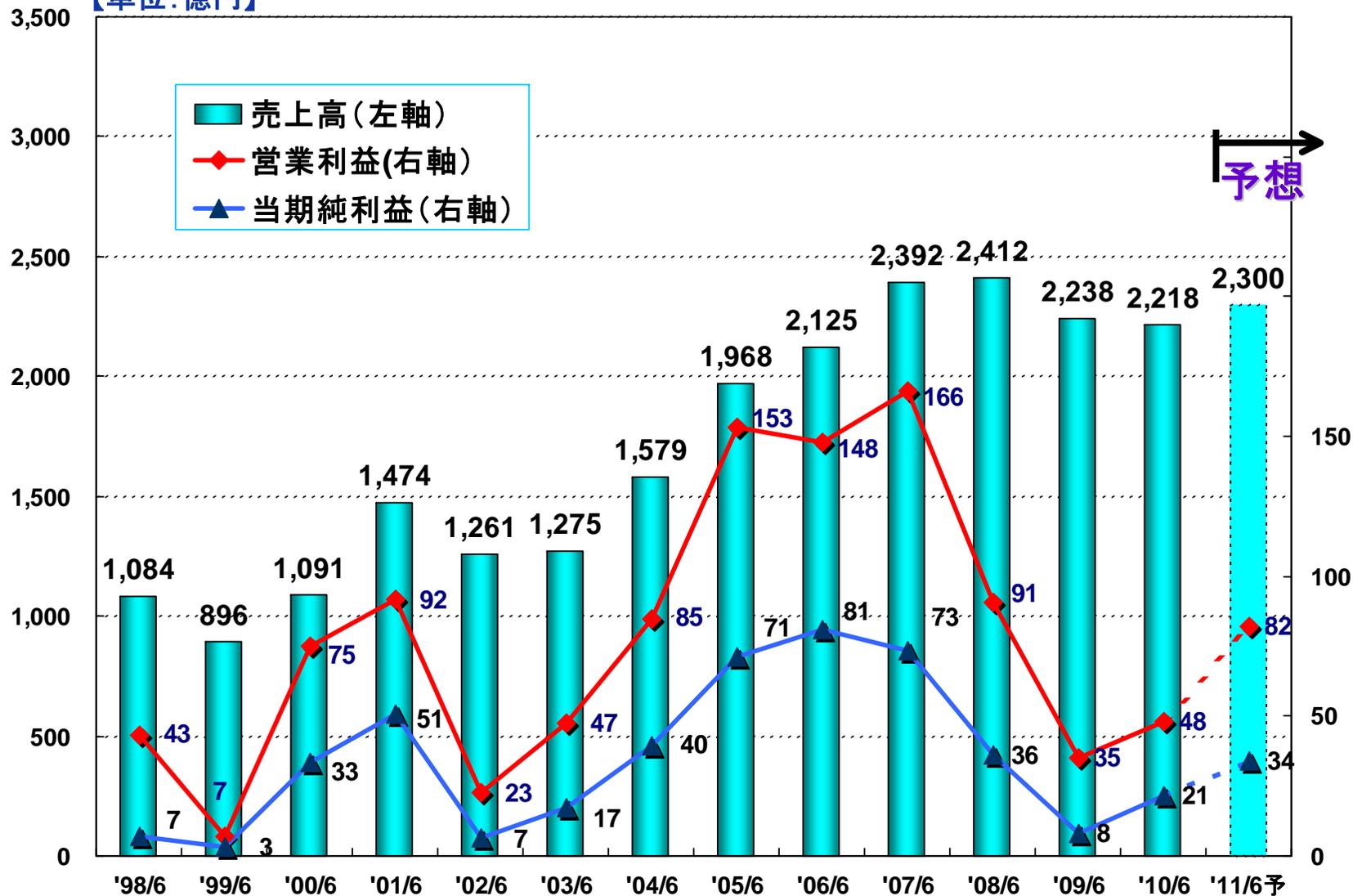
## ■ 売上高構成比(連結)



# 売上高と利益の推移・予想

添付資料

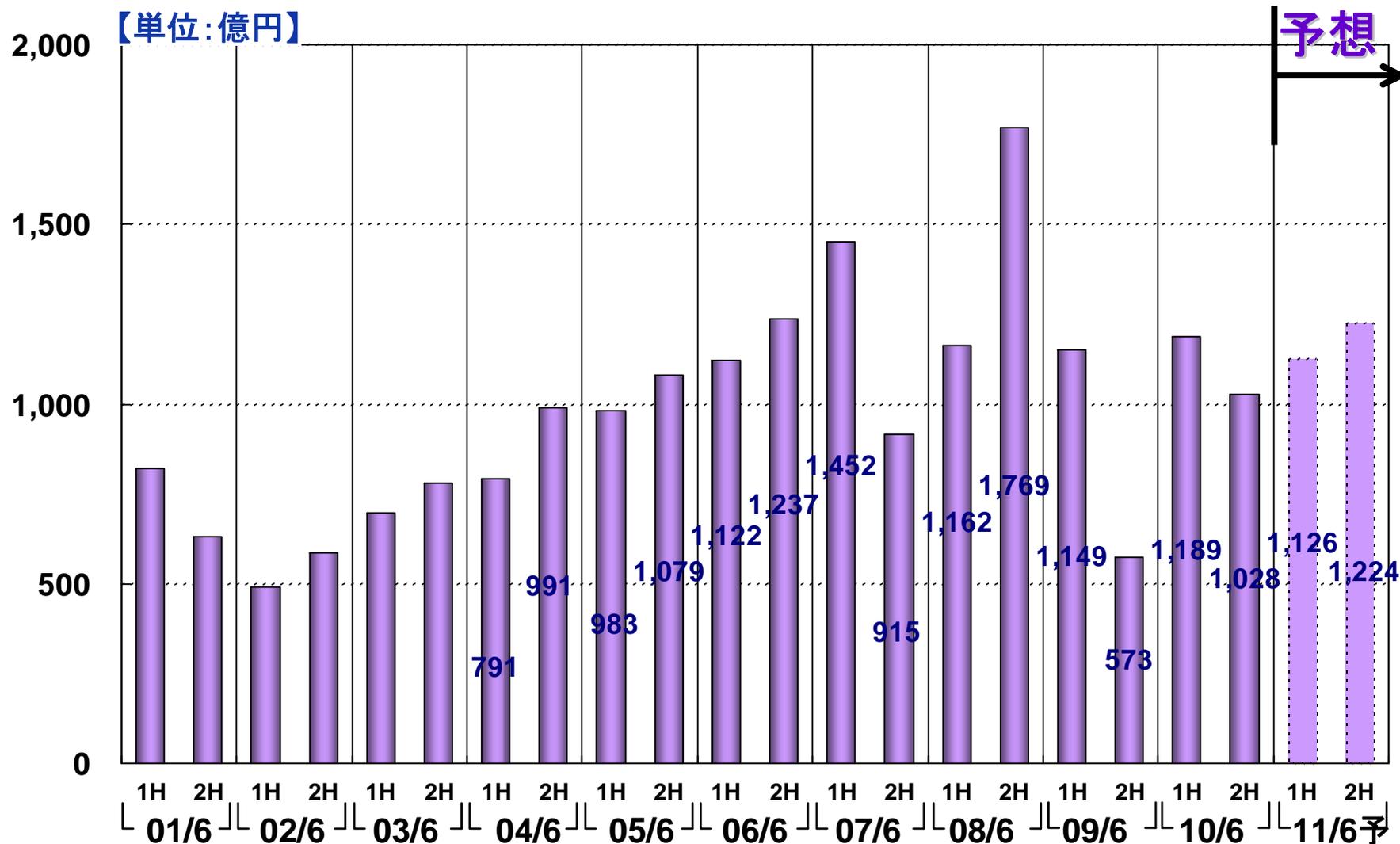
【単位：億円】



【小数点以下第2位は四捨五入】

# 受注高推移・予想

添付資料

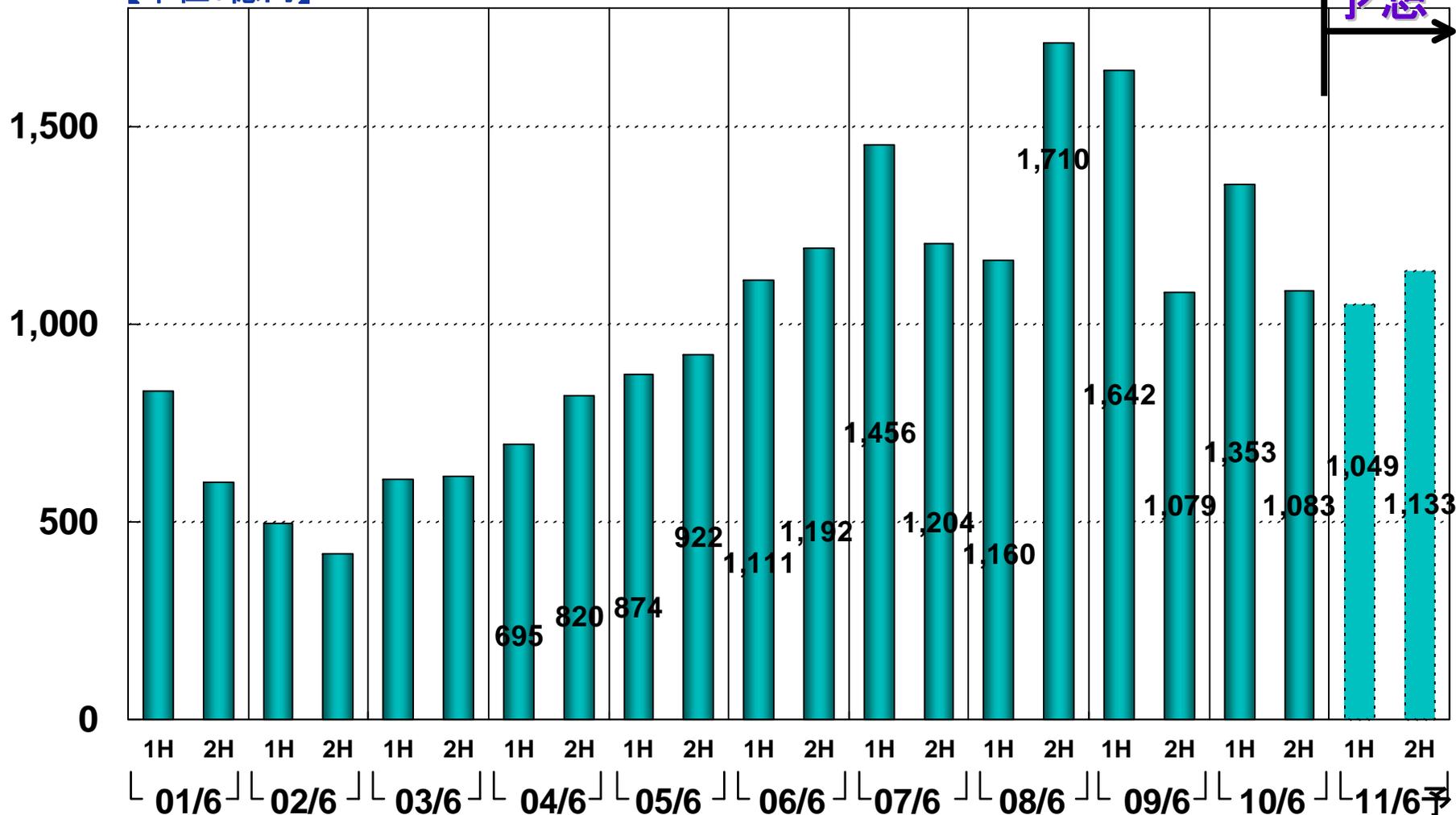


# 受注残高推移・予想

添付資料

【単位：億円】

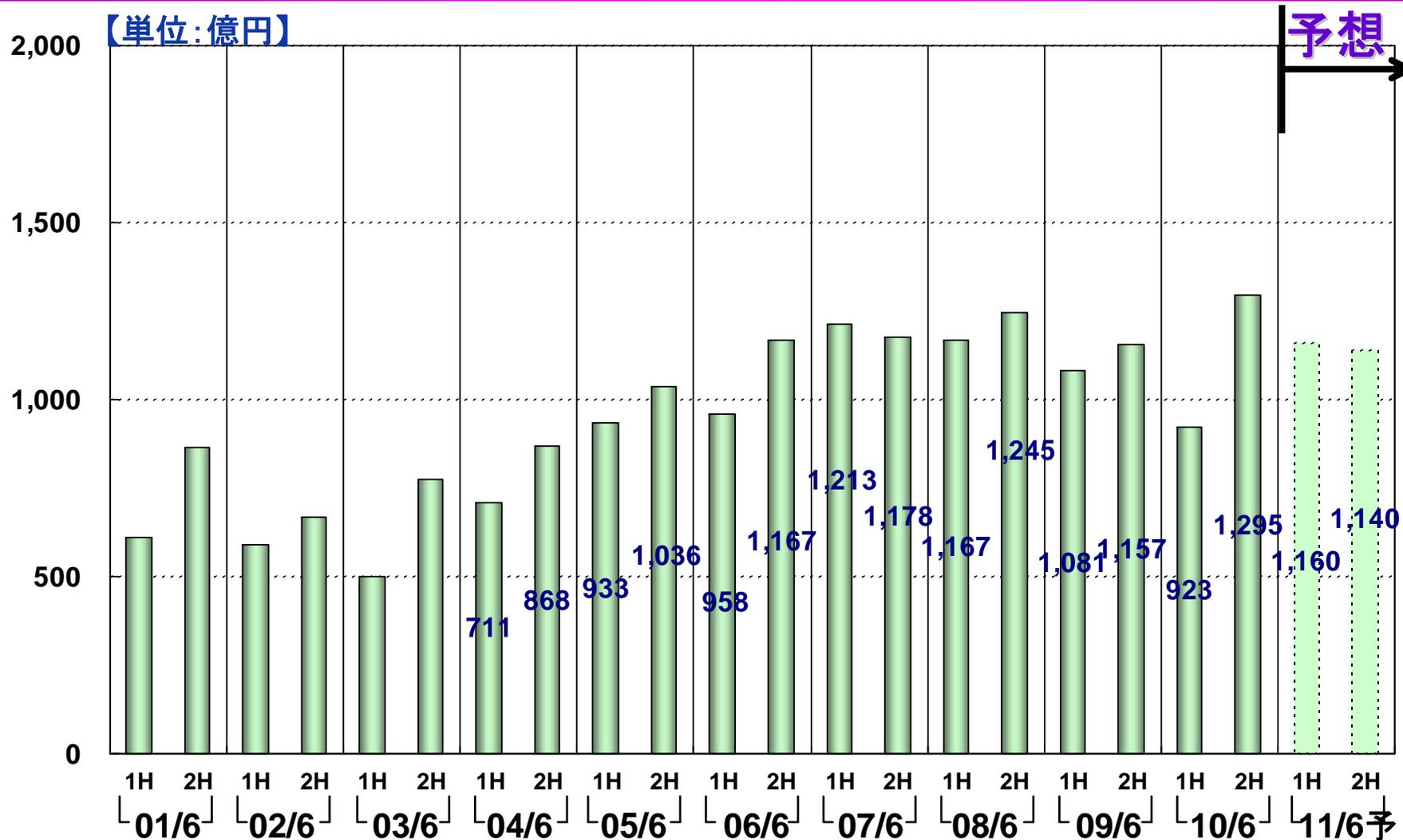
予想



【小数点以下は四捨五入】

# 売上高推移・予想

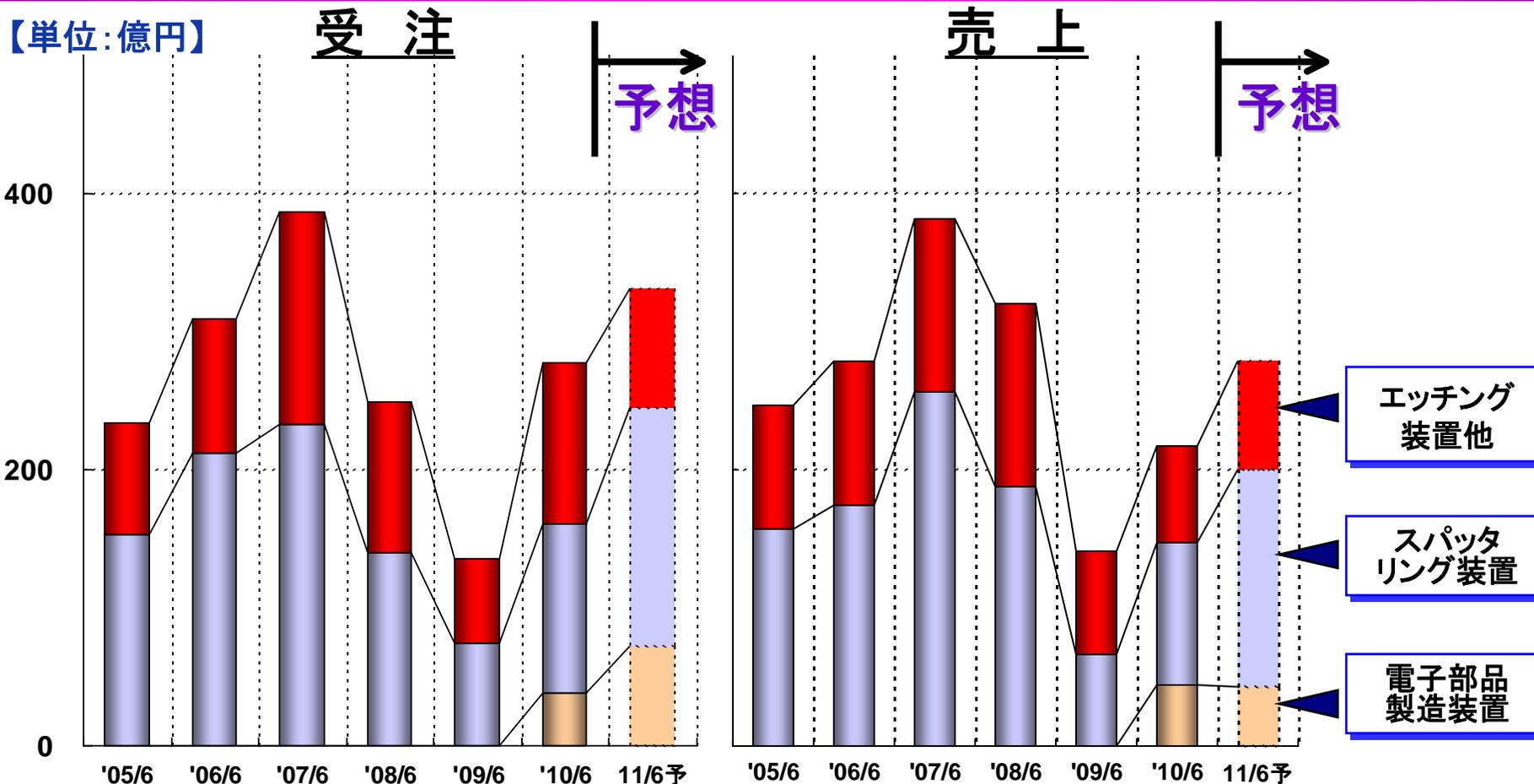
添付資料



【小数点以下は四捨五入】

# 半導体及び電子部品製造装置の推移・予想

添付資料



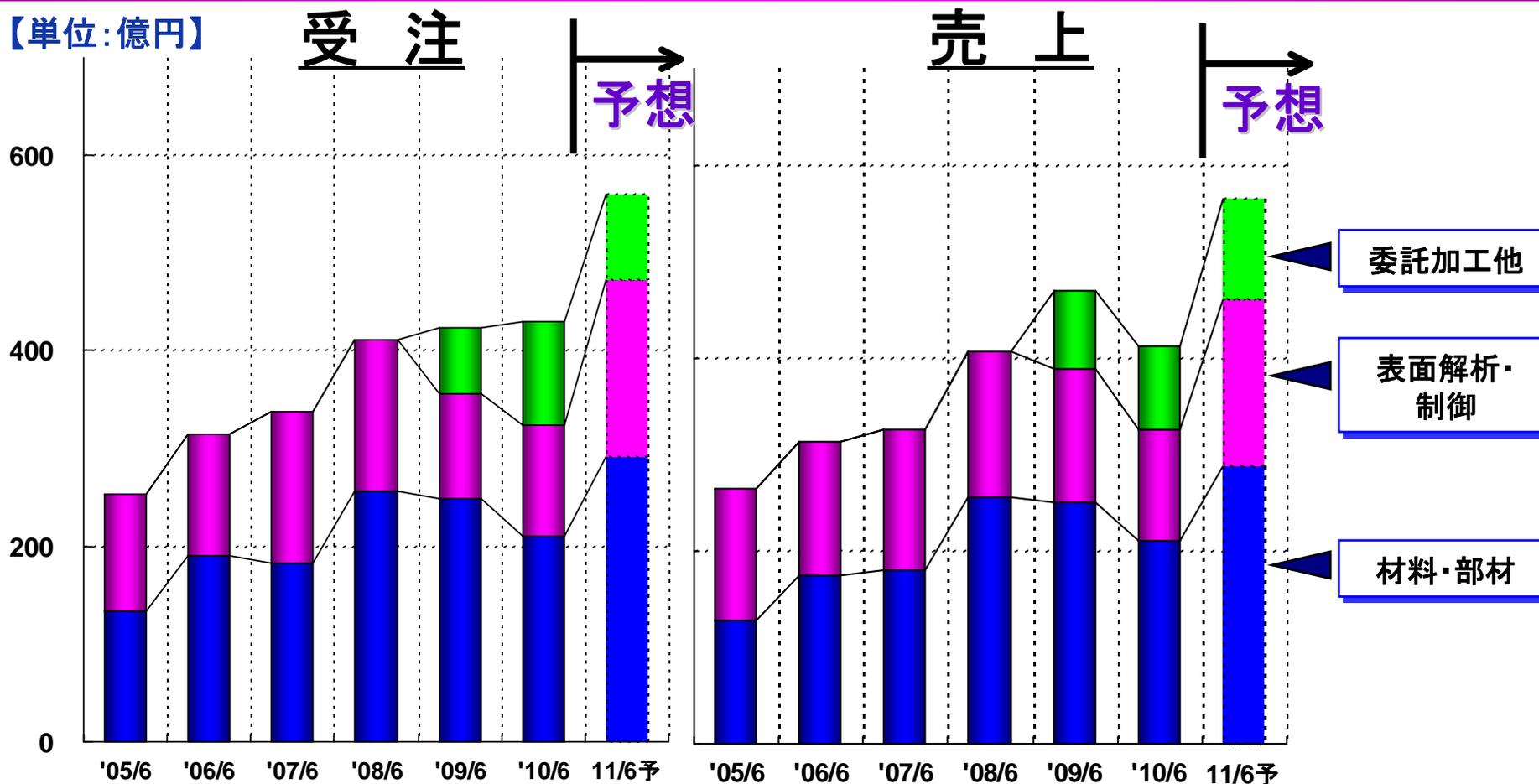
\* '10/6から、電子部品製造装置が追加されています

## 足元の受注環境

- ◆DRAM、フラッシュメモリーが投資回復。
- ◆LED関連が続伸。日本、台湾、中国、韓国など市場が成長。
- ◆ハイブリッドカー・EV関連のパワー半導体など引き合い・受注堅調。

# 真空応用事業の推移・予想

【単位：億円】



### 足元の受注環境

- ◆材料関連は、LCD用ターゲット材料が回復。増産により売上増を狙う。
- ◆表面解析関連は、民間企業を中心に投資回復、アジアも順調。

## 連結貸借対照表(資産の部)

【単位:億円】

	09/6期	10/6期	増 減
流動資産	1,993	1,992	△ 1
固定資産	1,188	1,146	△ 42
有形固定資産	965	896	△ 70
無形固定資産	38	44	5
投資その他の資産	184	206	23
資産合計	3,181	3,138	△ 43

### 資産の部: 43億円減

#### ◆流動資産: 1億円減

- ◆現金及び預金 : 83億42百万円増加
- ◆受取手形及び売掛金 : 110億95百万円増加
- ◆たな卸資産 : 185億44百万円減少

#### ◆固定資産: 42億円減

- ◆有形固定資産 : 69億56百万円減少

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

# 連結貸借対照表(負債・純資産の部)

添付資料

【単位:億円】

	09/6期	10/6期	増 減
(負債の部)			
流動負債	1,518	1,396	△ 122
固定負債	762	717	△ 45
負債合計	2,279	2,113	△ 166
(純資産の部)			
純資産合計	902	1,025	123
負債及び純資産合計	3,181	3,138	△ 43

## 負債の部 : 166億38百万円減少

- 支払手形及び買掛金 : 197億57百万円増加
- 短期借入金・長期借入金 : 310億46百万円減少
- コマーシャル・ペーパー : 50億円減少

## 純資産の部: 123億46百万円増加

- ◆ 資本金・資本剰余金 : 148億10百万円増加
- ◆ 当期純利益 : 21億38百万円計上
- ◆ 少数株主分 : 18億31百万円減少
- ◆ 資本金評価・換算差額等 : 15億73百万円減少

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

# 主な新設工場、新拠点の設立(2010/6期)

## 中国

■愛発科電子材料(蘇州)

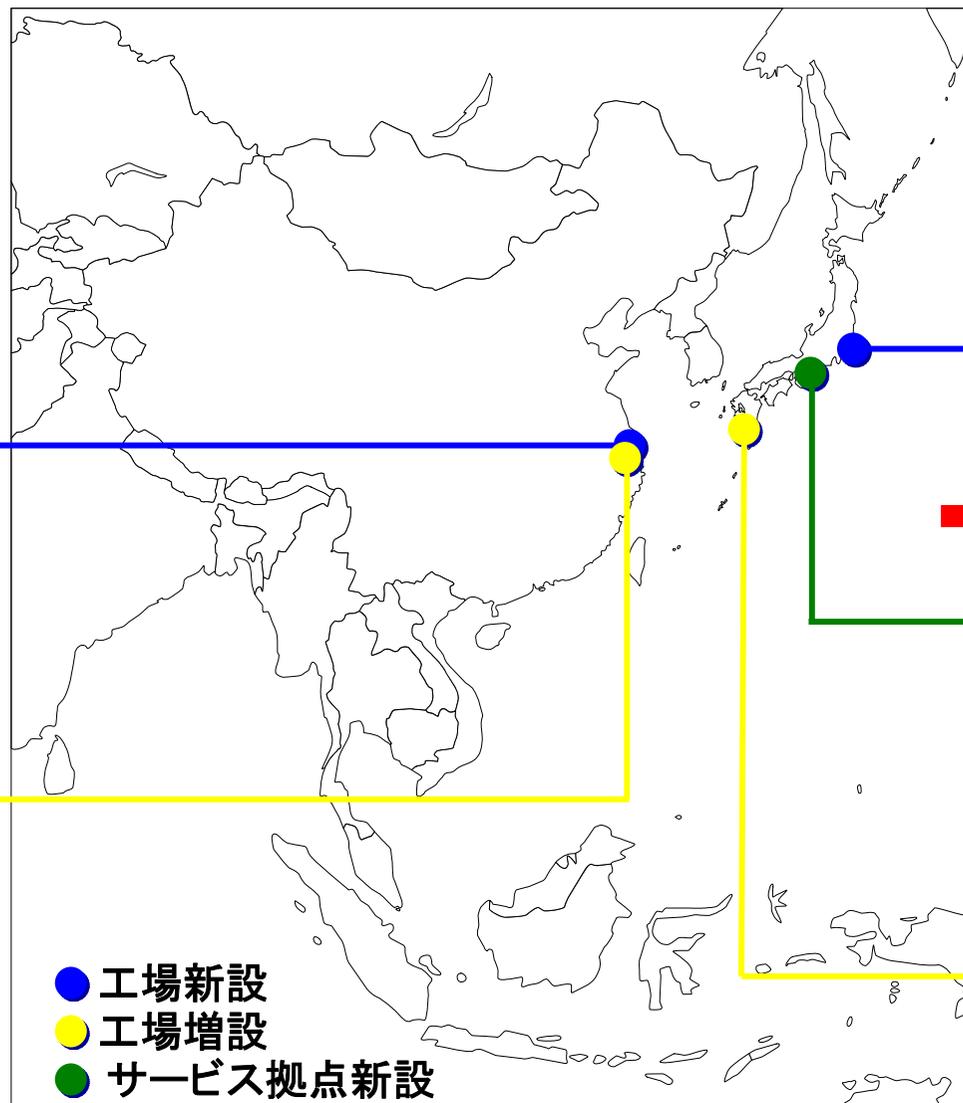


◆2010年10月竣工予定  
(蘇州)

■愛発科真空技術(蘇州)  
第3期工場



◆2010年10月竣工予定  
(蘇州)



- 工場新設
- 工場増設
- サービス拠点新設

## 日本

■千葉超材料研究所



◆2010年7月移転  
(千葉県富里市)

■カスタマーズサポート拠点新設



◆2009年11月 稼動開始  
(和歌山県橋本市)

■ITOターゲット工場増設

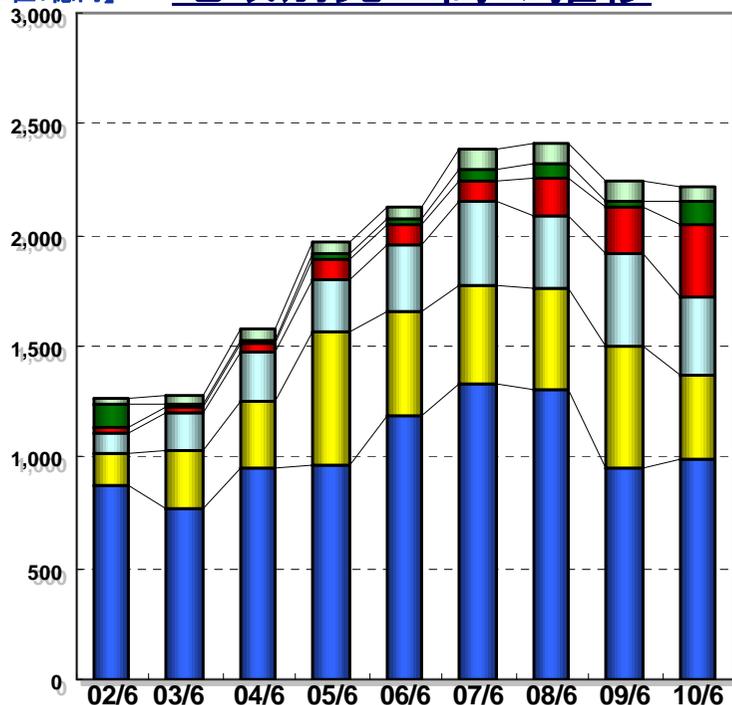


◆2011年1月稼動開始予定  
(鹿児島県霧島市)

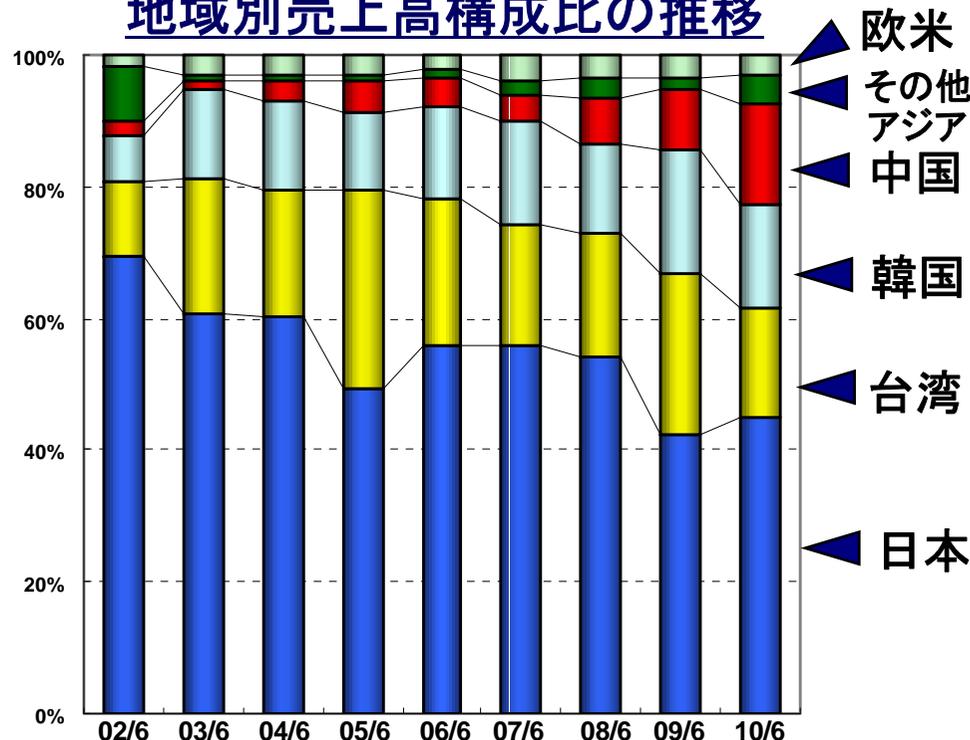
# 地域別売上高構成比の推移

添付資料

【単位:億円】 地域別売上高の推移



地域別売上高構成比の推移



	02/6		03/6		04/6		05/6		06/6		07/6		08/6		09/6		10/6		
	売上	比率	前期比																
日本	874	69%	773	61%	953	60%	968	49%	1,189	56%	1,334	56%	1,307	54%	949	42%	995	45%	5%
台湾	147	12%	261	20%	304	19%	597	30%	473	22%	442	18%	451	19%	551	25%	369	17%	-33%
韓国	87	7%	172	13%	211	13%	231	12%	292	14%	379	16%	326	14%	413	18%	354	16%	-14%
中国	26	2%	22	2%	47	3%	94	5%	96	5%	90	4%	169	7%	212	9%	333	15%	57%
その他アジア	102	8%	9	1%	16	1%	21	1%	26	1%	51	2%	70	3%	33	1%	98	4%	196%
欧米	24	2%	38	3%	47	3%	57	3%	48	2%	95	4%	89	4%	80	4%	70	3%	-12%
合計	1,261	100%	1,275	100%	1,579	100%	1,968	100%	2,125	100%	2,392	100%	2,412	100%	2,238	100%	2,218	100%	-1%

【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

# 主な研究開発のテーマと成果

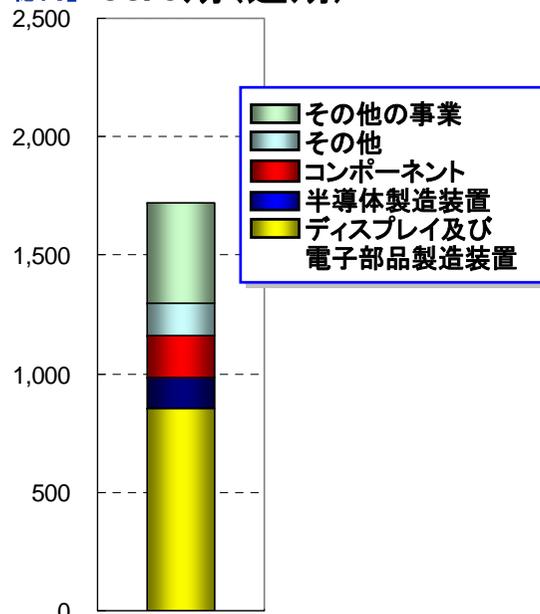
添付資料

	主な研究開発のテーマ	主な成果
FPD 製造装置	液晶ディスプレイ (TV 用大型基板、LTPS) 有機 EL ディスプレイなど	① 酸化物半導体 TFT を第 4 世代相当の大型基板に作製を発表 ② Litrex のインクジェット技術を継承しつつ精度およびメンテナンス性を追求したインクジェットプリンティングシステム「S-200」を開発、販売開始
PV 製造装置	太陽電池(薄膜、結晶系、 化合物系など) 高効率太陽電池	① マイクロクリスタル用 PE-CVD 装置「CIM-1400」を加えたタンデム型薄膜シリコン太陽電池製造用ターンキーシステムを開発、販売開始
半導体及び電子 部品製造装置	不揮発メモリ、メモリ他 パワー半導体、MEMS、 LED、高密度実装など	① 半導体・電子部品の幅広い有機膜プロセスに対応した新型プラズマアッシング装置「Luminous NA-8000」の販売を開始 ② プラズマダメージ耐性を向上させた低比誘電率層間絶縁膜材料“ULKS Ver.3”の販売を開始
コンポーネント	エネルギー・環境、バイオ	① 液体 He を使用しない He ガス循環式冷凍機の極低温冷凍機ビジネスに参入 ② 自動 He リークテストシステム用リークディテクタ HELIOT ZERO を発売開始 ③ 高速、省スペース、低価格を実現した新型自動 He 装置「ALT・S シリーズ」を販売開始 ④ 装置のデータを収集・解析する装置診断システム「FABISEQ」の発売を開始 ⑤ タンデム型薄膜太陽電池用局所効率・ヘーズ測定装置「MPEC-opt1300」を販売開始
一般産業用装置	エネルギー・環境、 ヘルスケア	① 粉体製造用微噴凍結乾燥装置(マイクロパウダードライ(μPD))を開発、販売開始。薬液から充填まで凍結乾燥製剤の一貫ラインを構築
材料・部材	新規機能性材料	① 酸化物半導体 TFT 用スパッタリングターゲットの開発
その他	分析技術、制御、 エネルギー・環境	① 太陽光発電設備と電気自動車向け急速充電器を組み合わせた充電システムを製品化。茅ヶ崎市市営駐車場用の発電・充電システムとして初受注 ② 世界で初めて、共振ずり測定装置「RSM-1」を商品化、販売を開始。ナノスケールの厚みの液体における粘性、摩擦・潤滑特性が評価可能

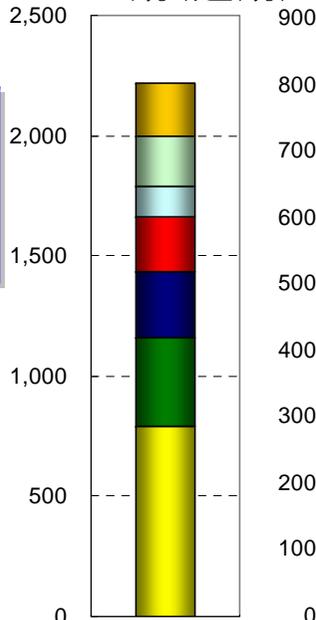
# 品目別受注高実績

添付資料

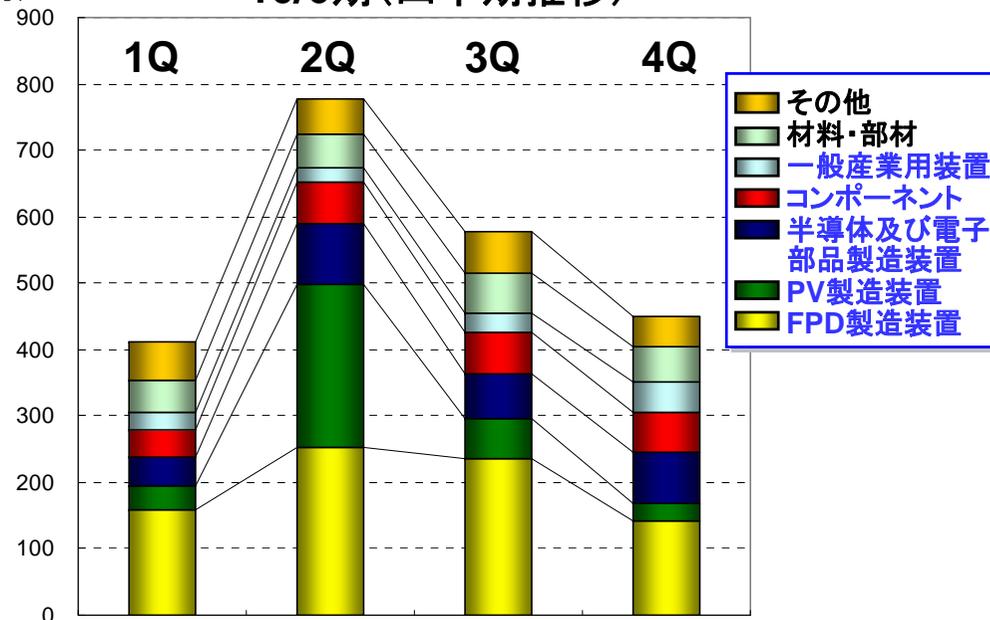
【単位:億円】 09/6期(通期)



10/6期(通期)



10/6期(四半期推移)



【単位:億円】

09/6期		
セグメント	受注高	構成比
真空関連事業	1,298	75%
ディスプレイ及び電子部品製造装置	851	49%
半導体製造装置	133	8%
コンポーネント	179	10%
その他	135	8%
その他の事業	424	25%
合計	1,722	100%

10/6期		
セグメント	受注高	構成比
真空機器事業	1,788	81%
FPD製造装置	792	36%
PV製造装置	366	17%
半導体及び電子部品製造装置	277	12%
コンポーネント	227	10%
一般産業用装置	126	6%
真空応用事業	429	19%
材料・部材	210	9%
その他	219	10%
合計	2,217	100%

1Q		2Q		3Q		4Q	
受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比
305	74%	675	87%	456	79%	352	78%
160	39%	253	32%	236	41%	143	32%
35	9%	246	32%	59	10%	26	6%
42	10%	90	12%	67	12%	77	17%
41	10%	63	8%	64	11%	60	13%
26	6%	23	3%	30	5%	47	10%
106	26%	104	13%	121	21%	99	22%
50	12%	49	6%	58	10%	53	12%
56	14%	55	7%	62	11%	46	10%
411	100%	778	100%	577	100%	451	100%

注)記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

# 品目別売上高実績

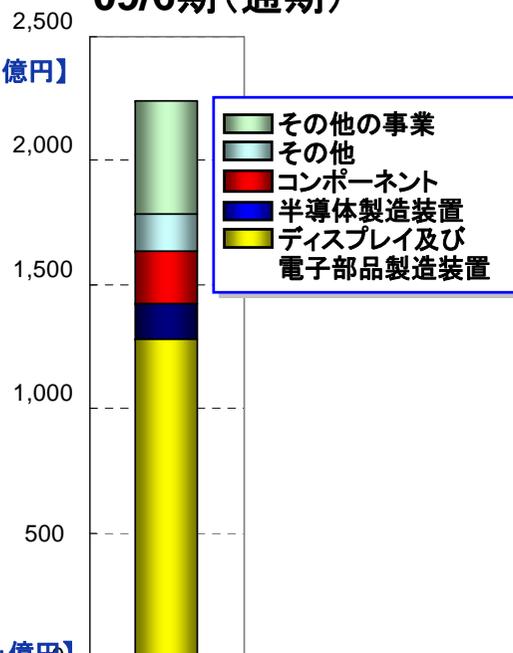
添付資料

09/6期(通期)

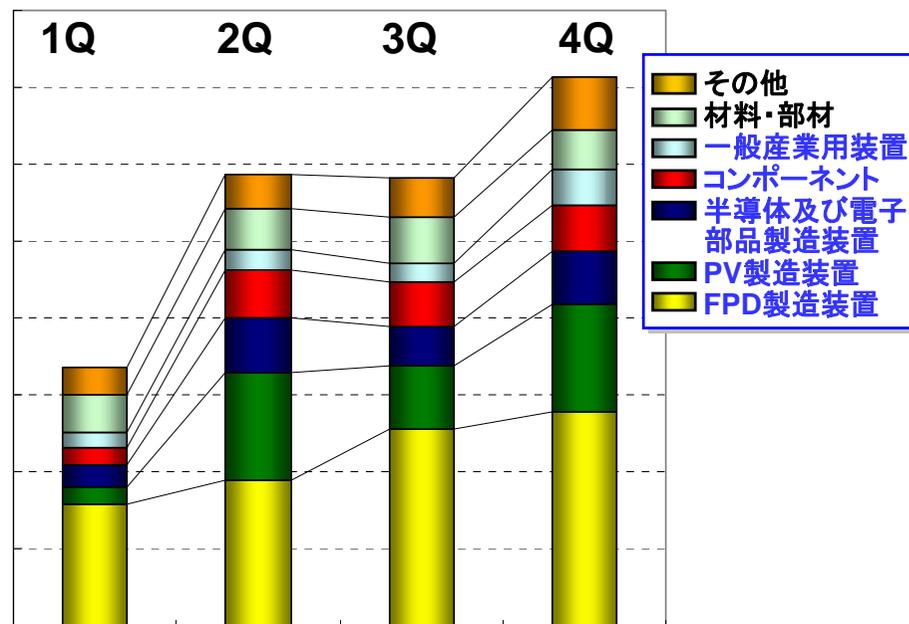
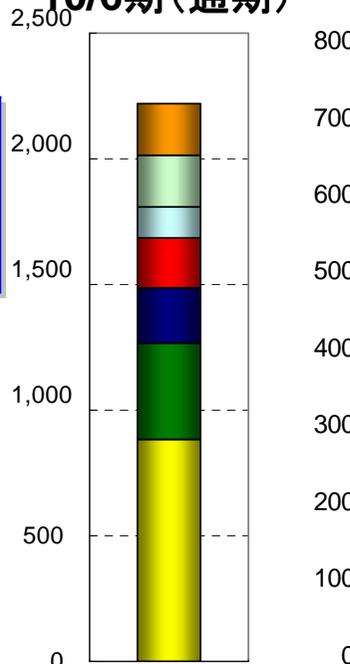
10/6期(通期)

10/6期(四半期推移)

【単位:億円】



【単位:億円】



09/6期		
セグメント	売上高	構成比
真空関連事業	1,783	80%
ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,284	57%
半導体製造装置	142	6%
コンポーネント	213	10%
その他	145	6%
その他の事業	455	20%
<b>合計</b>	<b>2,238</b>	<b>100%</b>

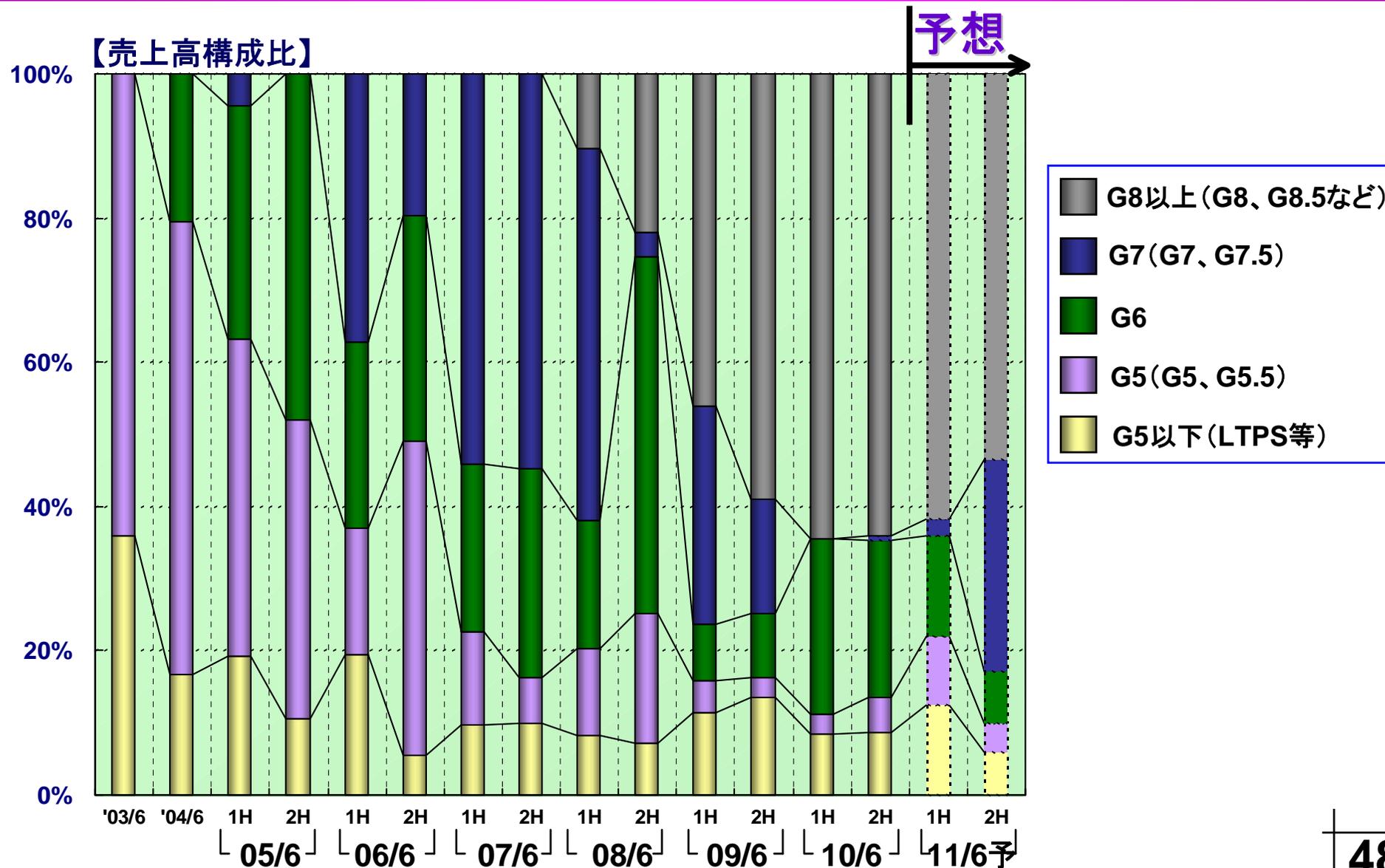
10/6期		
セグメント	売上高	構成比
真空機器事業	1,805	81%
FPD製造装置	881	40%
PV製造装置	385	17%
半導体及び電子部品製造装置	218	10%
コンポーネント	201	9%
一般産業用装置	119	5%
真空応用事業	413	19%
材料・部材	211	10%
その他	202	9%
<b>合計</b>	<b>2,218</b>	<b>100%</b>

1Q		2Q		3Q		4Q	
売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
251	75%	490	83%	471	81%	593	83%
157	47%	189	32%	256	44%	279	39%
23	7%	140	24%	82	14%	140	20%
28	8%	71	12%	51	9%	67	9%
23	7%	61	10%	56	10%	61	9%
19	6%	28	5%	26	4%	46	6%
85	25%	97	17%	110	19%	121	17%
49	14%	52	9%	59	10%	51	7%
36	11%	44	8%	52	9%	69	10%
<b>336</b>	<b>100%</b>	<b>586</b>	<b>100%</b>	<b>582</b>	<b>100%</b>	<b>714</b>	<b>100%</b>

注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

# 液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移

添付資料

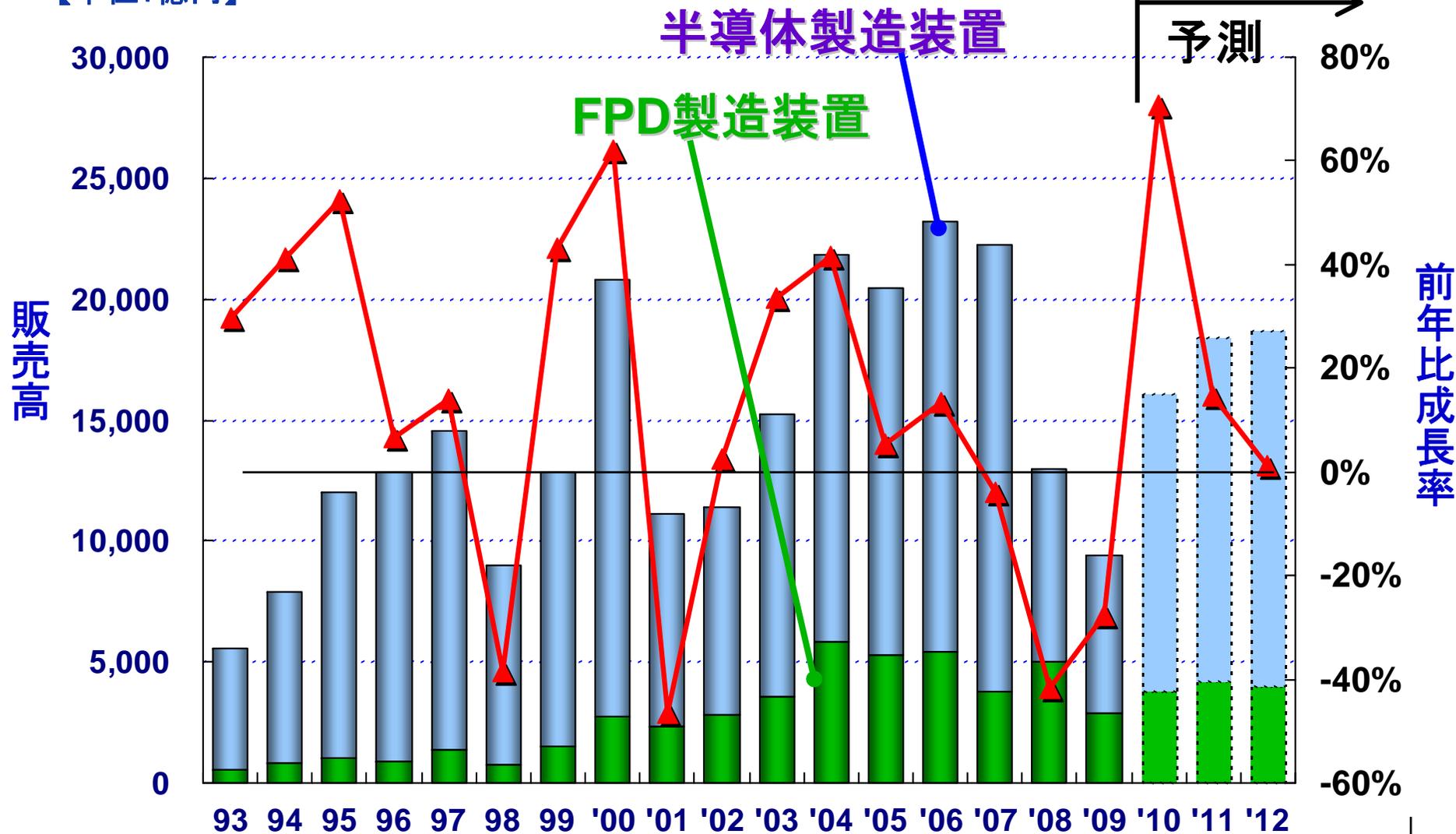


# 半導体およびFPD製造装置予測

参考資料

【単位：億円】

＜日本製装置販売高予測＞



【出所:2010年7月 SEAJ】 (販売高:日系企業(海外拠点含む)の国内および海外への販売高)

真空テクノロジーで  
「つくる」をつくる、アルバック

ULVAC

